

令和 6 年 6 月 20 日現在

機関番号：34315

研究種目：基盤研究(A) (一般)

研究期間：2019～2022

課題番号：19H01091

研究課題名(和文)新規非侵襲的脳刺激が拓くネオ・リハビリテーションとそのシステム脳科学的解明

研究課題名(英文)Neo-Rehabilitation and its Systems Neuroscience Explored by Novel Non-invasive Brain Stimulation

研究代表者

美馬 達哉 (Mima, Tatsuya)

立命館大学・先端総合学術研究科・教授

研究者番号：20324618

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 34,900,000円

研究成果の概要(和文)：人間の神経可塑性を誘導する非侵襲的脳刺激法(NIBS)はリハビリテーション応用されてきた。現在では、静磁場刺激法やパターン電流刺激など新規NIBSが開発されつつある。本研究では、NIBSを利用した「ネオ・リハビリテーション」開発という臨床的問いを中心に、その生理機構をシステム脳科学の観点から解明した。静磁場刺激法の世界初の脳卒中リハビリテーション応用とclosed-loop式パターン電流刺激法の機器開発をパーキンソン病への臨床応用を行い、静磁場刺激法については、脳機能ネットワークへの影響を明らかにし、動物実験によって生理機構を解明した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

脳可塑性を誘導する非侵襲的脳刺激法は広くリハビリテーションに応用されてきた。だが、そのシステム脳科学的な理解、および臨床応用の実現可能性は十分にはできていない。本研究では、「ネオ・リハビリテーション」の研究と開発を目的として領域横断的な検討を行った結果、脳卒中の治療への静磁場刺激の応用、およびパーキンソン病の治療へのclosed-loop式パターン電流刺激法の応用の臨床研究に成功し、エビデンスを明らかにした。また、静磁場刺激の作用機序を明らかにした。これらは、超高齢社会となった日本において、脳卒中やパーキンソン病に苦しむ人々のQOL向上につながる成果であり、社会的意義は大きい。

研究成果の概要(英文)：Non-invasive brain stimulation (NIBS) methods that induce neuroplasticity in humans have been applied in rehabilitation. Currently, novel NIBS such as static magnetic field stimulation and pattern electrical stimulation are being developed. In this study, we focused on the clinical question of developing "neo-rehabilitation" using NIBS and elucidated its physiological mechanism from the viewpoint of system neuroscience. We successfully applied static magnetic field stimulation to stroke rehabilitation, and developed a closed-loop pattern current stimulation equipment which can be applicable to Parkinson's disease. For the static magnetic field stimulation method, the effects on the brain functional network were clarified and the physiological mechanisms were elucidated by animal experiments.

研究分野：臨床神経生理学

キーワード：リハビリテーション 非侵襲的脳刺激法

1. 研究開始当初の背景

脳卒中は世界の死亡原因の 2 位を占め、回復した場合でも機能障害を残すことが多い。とくに ADL 障害において重要な運動麻痺についてはこれまで反復的な運動訓練がリハビリテーションとして用いられてきた。これは、反復による神経可塑性の誘導によって(ある程度の)機能再建を可能とする手法である。さらに近年では、リハビリテーションによる回復の基本原則である神経可塑性を加速・強化するためのさまざまな手法 脳刺激法や薬理学的手法や細胞移植 が実験的に用いられてきた。

脳刺激法としては、従来とくに反復経頭蓋的磁気刺激法 (repetitive Transcranial Magnetic Stimulation: rTMS) および経頭蓋的直流刺激法 (Transcranial DC Stimulation) について臨床応用に向けた研究が盛んであった。これらに加えて、ヒト神経可塑性を誘導する新しい非侵襲的脳刺激法 (Non-invasive Brain Stimulation: NIBS) として、交流波形やランダムノイズなどに変調した電流刺激を用いるパターン電流刺激法、複数の周波数や位相の異なる電場を組み合わせることで脳深部に非侵襲的に電気刺激を与える手法、強力な永久磁石による静磁場刺激法 (Transcranial Static Magnetic Stimulation: tSMS)、超音波刺激法などが試みられつつある。

こうした新規 NIBS の最大のメリットは「非(ないし低)侵襲性」、すなわち臨床応用への可能性(リハビリテーションなど)が開かれていることである。だが、新規非侵襲的脳刺激法 (NIBS) が生み出し得るヒト神経可塑性に関して、(1)作用機序のシステム脳科学的な理解(細胞・シナプスでの可塑性と領域間の機能ネットワーク可塑性)、(2)リハへの臨床応用の実現可能性、という根本問題は解明されていない。

発展の著しい非侵襲的脳刺激法 (NIBS) の最新の成果を臨床応用につなげるとともに、NIBS による可塑性の作動原理を解明するという研究目的は、研究代表者が追求してきた研究テーマである。その観点から、研究代表者として「磁気刺激と反復運動のハイブリッドによるリハビリの脳内機構の非侵襲的手法による解明」(基盤 B、2012-4)、「直流刺激と歩行運動のハイブリッド型リハによる下肢機能再建とその脳内機構の解明」(基盤 B、2015-8)を遂行してきた。

その中で、臨床応用を見据えた研究には医学系研究者だけでなく領域横断的に心理学・工学・生理学の研究者と共同研究をすることの必要性を痛感した。また、核心となる臨床的問いがあって初めて研究の意義を理解し、神経科学研究を進めていく高いモチベーションにもつながると考えている。そこで、NIBS によるネオ・リハビリテーションという臨床的問いを核心としつつ、NIBS 専門家である宇川(分担研究者)と協力して、細胞レベルからシステムレベルまでの専門的研究者を結集して可塑性の原理を解明するという本研究を着想した。

2. 研究の目的

本研究は、この問いに答えるため、生理学・工学・心理学・基礎医学・臨床医学の垣根を越えた横断的研究体制で、動物実験から機器開発と臨床研究までに挑むものである。

したがって、本研究の目的は、新規非侵襲的脳刺激法 (NIBS) を従来のリハと組み合わせた革新的な手法(ネオ・リハビリテーション)を開発し、その生理機構をシステム脳科学の観点から解明することである。新規 NIBS として静磁場刺激法 (tSMS) と tDCS を応用したパターン電流刺激法を検討し、脳波での領域間結合測定によって脳機能ネットワークへの影響を明らかにし、動物実験による生理機構解明を目指した。

3. 研究の方法

(1) 静磁場刺激法

静磁場刺激法 (tSMS) は 2011 年に Oliviero らによって開発された新規 NIBS であり、研究代表者と分担研究者の野島、桐本がいち早く日本に導入し、その神経可塑性効果について研究を積み重ねてきた。これまでヒトでの基礎研究や動物実験は行われてきたが、臨床応用の可能性は未踏であり、生理機構は完全には解明されていない。小型永久磁石による tSMS は安全かつ安価であることから、本研究での世界初の tSMS を用いた脳卒中リハの開発と客観的效果判定はきわめて社会的有用性が高い。また、その生理機構については従来未解明であったが、分担研究者の福田らとパッチクランプ法によるマウス脳での動物実験を行った。

(2) パターン電流刺激法

たんに外部から NBS を与えるのではなく、神経系の内因性リズムに着目し、内因性リズムと同期して NIBS を与える closed-loop 式刺激を考案し、その開発を行った(分担研究者:小野、植木)。本研究でのパターン電流刺激法では、二足歩行という ADL 上重要な機能に着目し、自然歩行周期と同期させたパターン電流刺激を脳に与える closed-loop 式刺激システムを開発し、内因性脳活動と外因性刺激法の間 spike-timing dependent plasticity によって歩行に関わる神経回路を可塑的に強化することを目指している。筋力増強だけでなくリズム性 (Central Pattern Generator) に着目して歩行の機能的再建を目指すアイデアは世界初である。歩行再建

リハは汎用性が高く、脳卒中による麻痺だけではなく、錐体外路性の歩行障害や小脳性の歩行障害への臨床応用の展開も想定している。

(3) 脳機能ネットワーク測定手法の開発

こうした新規 NIBS による神経可塑性誘導の作用については、double-blind での客観的なり八有効性判定に加えて、システム脳科学の手法でヒト脳の機能的ネットワークの可塑的变化を解明することが必要である。そのため、fMRI による脳賦活に加えて、臨床応用を見据えた簡易な手法として近赤外光トポグラフィー (NIRS) による脳血流測定を用いた検討を行う (分担研究者: 大須)。また、システムとしての脳の領域間結合の機能ネットワークを定量的に検討するために脳波によるネットワーク解析による数理科学的な検討を行う (分担研究者: 北城)。

4. 研究成果

以下に示した通り、新規 NIBS を従来のリハビリテーションと組み合わせたネオ・リハビリテーションを開発して臨床応用し、その生理機構をシステム脳科学の観点から解明するという本研究計画の目的は十分に達せられた。

(1) 静磁場刺激法 (tSMS)

tSMS については、以下をはじめとして多くの研究成果が得られた。とくに、生体作用の生理機構が分子レベルで、世界で初めて解明されたことは特筆すべき成果である。

現在の tSMS は、磁石からの距離によって磁場が減衰するため、脳の深部を効果的に刺激するには不十分である。そこで、非侵襲的な脳深部刺激のため、3つの円筒形ネオジム磁石を近接して配置したトリプル tSMS システムを設計・製作し、現行の tSMS と比較した。さらに、その機能を確認するために、17人の健康人の一次運動野をトリプル tSMS で20分間刺激し、経頭蓋磁気刺激によって得られた運動誘発電位 (MEP) を用いて皮質の興奮性を評価した。我々のシステムは、現行の tSMS よりも30mm深い、磁石表面から80mmの深さまで神経調節に十分な磁場を発生し、MEP 振幅を有意に減少させ、健常被験者の M1 興奮性の抑制に成功した [1]。

tSMS の臨床応用として、亜急性期脳卒中患者における運動改善効果を評価する研究を行った。二重盲検無作為クロスオーバー試験で、亜急性期脳卒中 (脳卒中発症から6ヵ月未満) で上肢片麻痺の患者20名を登録し、あらかじめ書面での同意を得たうえで、60分間の作業療法 (OT) 中に、第1背側骨間筋 (FDI) の対側一次運動野 (M1) に20分間、TSMS またはシャム TSMS を行う10日間の介入を行った。主要アウトカムは、手指巧緻性の定量的評価 (修正10秒テスト) であった。副次的アウトカムは、上肢の Fugl-Meyer 評価 (FMA) 運動スコア、Action Research Arm Test (ARAT) Box and Block Test (BBT)、両側の FDI の運動誘発電位 (MEP) であった。TSMS は、シャム TSMS よりも修正10秒テストにおいて有意に大きな増加を示した。また、患側の MEP では、実 TSMS は偽 TSMS よりも有意に大きくなった。本研究によって、安全で、低コストで、使いやすい治療ツールとして、tSMS は神経リハビリテーションの有望なツールとなりうることを示された [2]。

tSMS による可塑性の根底にある神経生理学的メカニズムを解明するため、雄の C57BL/6N マウスから得た急性運動皮質スライス標本を用いて、tSMS がニューロン内のクロライド (Cl-) チャネルの活性を変化させることによって、ニューロンに内在する電気的特性を変化させることを示した。ヒトの tSMS と同程度の強さの静磁場にマウスの錐体ニューロンを曝すと、一時的に興奮性が低下した。静磁場の効果は DIDS と GlyH-101 でブロックされたが、NPPB ではブロックされなかった。これは Cl-チャネル活性を持つトランスポーター SLC26A11 の薬理的プロファイルと一致する。GlyH-101 感受性の Cl-電流成分の全細胞ボルテジクランプ記録は、静磁場適用後、閾値下および脱分極膜電位での有意な増強を示し、その結果、シャント障害が起こり、活動電位振幅が減少した。tSMS が神経細胞活動を抑制する効果について、初めての神経生理学的証拠を提供することに成功した [3]。

(2) パターン電流刺激法

我々が独自に開発した歩行を組み合わせた歩行複合閉回路式経頭蓋電気刺激 (歩行複合 closed-loop tES) の臨床研究を行い、脳卒中患者での有効性の生理機構を解明する実験を行うとともに、新しくパーキンソン病患者に対する有効性を示すことに成功した。以下にその主要な研究成果を述べる。

歩行複合 closed-loop tES が歩行中の筋活動の皮質制御を変調させているかどうかを解明するため、対になった表面筋電図 (EMG) 記録のコヒーレンス解析を用いて評価する研究を行った。EMG-EMG コヒーレンス解析を用いて、歩行周期周波数での歩行複合 closed-loop tES が歩行中の筋活動の皮質制御に及ぼす影響を検討することを目的とした。本研究には14名の健康な若年成人が参加した。参加者全員に2つの試験条件 (10分間のトレッドミル歩行中に、一次運動野の下肢領域に実際の tACS とシャム刺激) を行った。座位での前脛骨筋 (TA) と外側腓腹筋からの運動誘発電位 (MEP) の平均振幅と、TA 筋、上腕三頭筋、大腿四頭筋、ハムストリング筋の歩行中の EMG-EMG コヒーレンスを刺激前後で測定した。同期効果は、シャム刺激時よりも歩行複合 closed-loop tES 時の方が有意に高かった。歩行複合 closed-loop tES 後、TA 筋では MEP 振幅と 帯 (13-33Hz) コヒーレンス面積が増加した。TA 筋からの MEP 振幅の変化は、

TA 筋の 帯コヒーレンス面積の変化と正の相関があった。以上の結果から、歩行複合 closed-loop tES は、歩行中の TA 運動ニューロンへの下行性神経駆動の強さを増強することができると考えられた[4]。

神経難病で根治の困難なパーキンソン病性歩行障害を有する患者を対象に、歩行複合 closed-loop tES を用いた新しい神経調節システムの有効性を検証した。あらかじめ書面での同意を得たうえで、23 名の患者を、個別に設定した快適な歩行リズムの周波数で、小脳上の歩行複合 closed-loop tES を用いた実際の介入群と、シャム刺激の対照群に無作為に割り付けた。全患者に対して 10 回の介入セッションが行われ、歩行速度と歩幅が tES 後に有意に増加したが、シャム刺激後には増加しなかった。さらに、遊脚相時間で測定される歩行対称性と、フリーズに関する主観的評価は、歩行中に有意に改善した。以上から、小脳上の歩行複合 closed-loop tES は、歩行リズムを生成する脳ネットワークの調節を介して、パーキンソン病の歩行障害を改善することが示された。この新しい歩行複合 closed-loop tES は、パーキンソン病関連疾患患者の歩行機能を回復させる画期的手法となる可能性がある[5]。

(3) 脳機能ネットワーク測定手法の開発

脳機能ネットワーク測定手法に関しては、従来の手法を定量的に比較することで、もっとも有効な計測手法を確定させ、その手法を用いて、tSMS の評価を行った。また、今後は臨床研究でのバイオマーカーとして用いる可能性を検討していく予定である。

脳機能ネットワークの計測手法として、位相同期は、脳オシレーションの領域間機能的連結性 (FC) を調べるために広く用いられているが、ある実験に対してどの位相同期の測定法を選択すべきかは知られていない。そこで、脳機能ネットワーク測定の基礎実験として、体性感覚刺激中に健常者から記録された神経磁気脳信号を用いて、対側の一次体性感覚野と同側の二次体性感覚野の間の刺激誘発性 FC を検出するために、phase-locking value (PLV) の虚数部、コヒーレンスの虚数部 (ImCoh)、phase lag index (PLI)、重み付け PLI (wPLI) の 4 つの位相同期測定手法の性能を比較した。分析の結果、ImCoh が刺激誘発性 FC の検出において最も優れた性能を示し、次いで wPLI であった。また、ImCoh と wPLI の両方の計算に関係する振幅重み付けが、ノイズ混入の影響を効果的に減衰させることがわかった。ノイズに汚染されたピリオドグラムをモデル化したシミュレーション研究でも、これらの結果が再現された。本結果は、振幅依存の測定法である ImCoh、それに次いで wPLI を計算する方法が、刺激による FC を検出する上で有利である可能性を示唆している[6]。この結果に基づいて、本研究では、生理的意味付けのはっきりした wPLI を、当面の解析手法として用いることにした。

tSMS を局所に与えた場合の、脳機能ネットワークの全体での影響を評価するために、上記の wPLI で半球間連結の強度を評価する実験を行った。実験パラダイムとしては、左一次運動皮質 (M1) への tSMS を 20 分間行い、EEG パワースペクトルと領域間 EEG 結合に及ぼす影響を調べた。このクロスオーバー二重盲検シャム対照試験には、12 人の右利きの健常人が参加した。介入前 3 分間と介入開始後 17 分間の安静時脳波データを記録し、シータ (4-8Hz)、アルファ (8-12Hz)、ベータ (12-30Hz) の各周波数について、左中心電極 (C3) のパワースペクトルと、C3 と他の電極間の wPLI を算出した。tSMS は C3 のシータ帯域の EEG パワーを有意に増加させ、C3 と頭頂正中線電極間のシータ帯域の機能的結合を増加させた。以上の結果から、シータ帯域の神経オシレーションは、前頭皮質上の tSMS によって誘発される神経生理学的効果に重要な役割を果たしている可能性があることと示唆された[7]。

文献

- [1] Shibata, S., Watanabe, T., Matsumoto, T., Yunoki, K., Horinouchi, T., Kirimoto, H., Zhang, J., Wang, H., Wu, J., Onishi, H., & Mima, T. (2022). Triple tSMS system ("SHIN jiba") for non-invasive deep brain stimulation: a validation study in healthy subjects. *Journal of NeuroEngineering and Rehabilitation* 19(1), 129.
- [2] Shimomura R, Shibata S, Koganemaru S, Minakuchi M, Ichimura S, Itoh A, Shimotake K, Mima T, (2023) Transcranial static magnetic field stimulation (tSMS) can induce functional recovery in patients with subacute stroke. *Brain Stimulation* 16(3): 933-935.
- [3] Sinha, A.*, Shibata, S.*, Takamatsu, Y.*, Akita, T., Fukuda, A., Mima, T. (2024) Static magnetic field stimulation enhances shunting inhibition via a SLC26 family Cl⁻ channel, inducing intrinsic plasticity. *Journal of Neuroscience* 44(9): e132422024.
- [4] *Kitatani R, Koganemaru S, Maeda A, Mikami Y, Matsuhashi M, Mima T, Yamada S. (2020) Gait-combined transcranial alternating current stimulation modulates cortical control of muscle activities during gait. *Eur. J Neurosci.* 52:4791-4802.
- [5] Nojima I, Horiba M, Sahashi K, Koganemaru S, Murakami S, Aoyama K, Matsukawa N, Ono Y, Mima T, Ueki Y. (2023) Gait-combined closed-loop brain stimulation can improve walking dynamics in Parkinsonian gait disturbances: a randomised-control trial. *J Neurol Neurosurg Psychiatry* 94(11): 938-944.
- [6] Yoshinaga, K., Matsuhashi, M., Mima, T., Fukuyama, H., Takahashi, R., *Hanakawa,

T. Ikeda, A. (2020) Comparison of Phase Synchronization Measures for Identifying Stimulus-Induced Functional Connectivity in Human Magnetoencephalographic and Simulated Data. *Frontiers in Neuroscience* 14:1-16.

[7] *Shibata, S., Watanabe, T., Yukawa, Y., Minakuchi, M., Shimomura, R., Ichimura, S., Kirimoto, H., & Mima, T. (2021). Effects of transcranial static magnetic stimulation over the primary motor cortex on local and network spontaneous electroencephalogram oscillations. *Scientific Reports*, 11(1), 8261.

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計187件（うち査読付論文 179件 / うち国際共著 29件 / うちオープンアクセス 106件）

1. 著者名 Ogawa Akari, Koganemaru Satoko, Takahashi Toshimitsu, Takemura Yuu, Irisawa Hiroshi, Goto Kazutaka, Matsuhashi Masao, Mima Tatsuya, Mizushima Takashi, Kansaku Kenji	4. 巻 8
2. 論文標題 Swallow-related Brain Activity in Post-total Laryngectomy Patients: A Case Series Study	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Progress in Rehabilitation Medicine	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2490/prm.20230026	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 Yamaoka Tatsuya, Takagi Yuta, Shimomura Ryota, Murata Yuki, Shimotake Katsumi, Itoh Akihiro, Mima Tatsuya, Koganemaru Satoko	4. 巻 8
2. 論文標題 N-of-1 Trial of Electrical Sensory Stimulation Therapy on the Tibial Innervated Area during Gait in a Case of Post-stroke Sensory Disturbance	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Progress in Rehabilitation Medicine	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2490/prm.20230018	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 Nojima Ippei, Horiba Mitsuya, Sahashi Kento, Koganemaru Satoko, Murakami Satona, Aoyama Kiminori, Matsukawa Noriyuki, Ono Yumie, Mima Tatsuya, Ueki Yoshino	4. 巻 94
2. 論文標題 Gait-combined closed-loop brain stimulation can improve walking dynamics in Parkinsonian gait disturbances: a randomised-control trial	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Journal of Neurology, Neurosurgery & Psychiatry	6. 最初と最後の頁 938 ~ 944
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1136/jnnp-2022-329966	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 Shimomura Ryota, Shibata Sumiya, Koganemaru Satoko, Minakuchi Masatoshi, Ichimura Sachimori, Itoh Akihiro, Shimotake Katsumi, Mima Tatsuya	4. 巻 16
2. 論文標題 Transcranial static magnetic field stimulation (tSMS) can induce functional recovery in patients with subacute stroke	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Brain Stimulation	6. 最初と最後の頁 933 ~ 935
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.brs.2023.05.024	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Shibata Sumiya, Koganemaru Satoko, Mima Tatsuya	4. 巻 8
2. 論文標題 Non-invasive Brain Stimulation in Post-stroke Dysphagia Rehabilitation: A Narrative Review of Meta-analyses in 2022	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Progress in Rehabilitation Medicine	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2490/prm.20230015	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yukawa Yoshihiro, Shibata Sumiya, Koganemaru Satoko, Minakuchi Masatoshi, Shimomura Ryota, Nakamura Kazuhito, Mima Tatsuya	4. 巻 9
2. 論文標題 Low-frequency repetitive transcranial magnetic stimulation can alleviate spasticity and induce functional recovery in patients with severe chronic stroke: A prospective, non-controlled, pilot study	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Heliyon	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.heliyon.2023.e15564	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Shima Atsushi, Tanaka Kazuki, Ogawa Akari, Omae Erika, Miyake Tomoaki, Nagamori Yui, Miyata Yusuke, Ohata Koji, Ono Yumie, Mima Tatsuya, Takahashi Ryosuke, Koganemaru Satoko	4. 巻 17
2. 論文標題 Case report: Backward gait training combined with gait-synchronized cerebellar transcranial alternating current stimulation in progressive supranuclear palsy	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Frontiers in Human Neuroscience	6. 最初と最後の頁 1082555 ~ 1082555
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnhum.2023.1082555	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Shima Atsushi, Miyake Tomoaki, Tanaka Kazuki, Ogawa Akari, Omae Erika, Nagamori Yui, Miyata Yusuke, Ohata Koji, Maki Takakuni, Ono Yumie, Mima Tatsuya, Takahashi Ryosuke, Koganemaru Satoko	4. 巻 17
2. 論文標題 Case report: A novel approach of closed-loop brain stimulation combined with robot gait training in post-stroke gait disturbance	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Frontiers in Human Neuroscience	6. 最初と最後の頁 1082556 ~ 1082556
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnhum.2023.1082556	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Shibata Sumiya, Takahashi Hirotaka, Miida Yu, Mima Tatsuya, Onishi Hideaki	4. 巻 154
2. 論文標題 Priming effects of transcutaneous vagus nerve stimulation on the neuromodulation induced by transcranial static magnetic field stimulation in human motor cortex	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Clinical Neurophysiology	6. 最初と最後の頁 194 ~ 197
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clinph.2023.08.004	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Matsumoto Takuya, Watanabe Tatsunori, Ito Kanami, Horinouchi Takayuki, Shibata Sumiya, Kurumadani Hiroshi, Sunagawa Toru, Mima Tatsuya, Kirimoto Hikari	4. 巻 17
2. 論文標題 Effect of transcranial static magnetic stimulation over unilateral or bilateral motor association cortex on performance of simple and choice reaction time tasks	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Frontiers in Human Neuroscience	6. 最初と最後の頁 1 ~ 10
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnhum.2023.1298761	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hakim U, De Felice S, Pinti P, Zhang X, Noah J. A, Ono Y, Burgess P.W., Hamilton A, Hirsch J, Tachtsidis I	4. 巻 280
2. 論文標題 Quantification of inter-brain coupling: A review of current methods used in haemodynamic and electrophysiological hyperscanning studies	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 NeuroImage	6. 最初と最後の頁 120354 ~ 120354
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroimage.2023.120354	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Nojima Ippei, Horiba Mitsuya, Sahashi Kento, Koganemaru Satoko, Murakami Satona, Aoyama Kiminori, Matsukawa Noriyuki, Ono Yumie, Mima Tatsuya, Ueki Yoshino	4. 巻 94
2. 論文標題 Gait-combined closed-loop brain stimulation can improve walking dynamics in Parkinsonian gait disturbances: a randomised-control trial	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Journal of Neurology, Neurosurgery & Psychiatry	6. 最初と最後の頁 938 ~ 944
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1136/jnnp-2022-329966	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kanaizuka Yuma, Manabe Takahiro, Huang Jian-Jia, Hung Jen-Wen, Ono Yumie	4. 巻 2023
2. 論文標題 Directional Neural Connectivity during Robot Mirror Therapy in Patients with Stroke	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Proceedings of 2023 Asia-Pacific Signal and Information Processing Association Annual Summit and Conference (APSIPA ASC) IEEE	6. 最初と最後の頁 199 ~ 205
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1109/APSIPAASC58517.2023.10317207	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 NM Broti, M Sawada, Y Takayama, K Iijima, M Iwasaki, Y Ono	4. 巻 13
2. 論文標題 Automated detection of interictal high-frequency oscillations for epileptogenic zone localization	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Advanced Biomedical Engineering	6. 最初と最後の頁 100 ~ 107
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yamanaka Eiji, Horiuchi Yuki, Nojima Ippei	4. 巻 17
2. 論文標題 EMG-EMG coherence during voluntary control of human standing tasks: a systematic scoping review	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Frontiers in Neuroscience	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnins.2023.1145751	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yamanaka Eiji, Goto Ryosuke, Kawakami Michiyuki, Tateishi Takaki, Kondo Kunitsugu, Nojima Ippei	4. 巻 13
2. 論文標題 Intermuscular Coherence during Quiet Standing in Sub-Acute Patients after Stroke: An Exploratory Study	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Brain Sciences	6. 最初と最後の頁 1640 ~ 1640
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/brainsci13121640	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Wen Lin, Watanabe Tatsunori, Iwamoto Yoshitaka, Ishii Yosuke, Miyoshi Fumiya, Shiraishi Kanako, Date Shota, Siu Ka-Chun, Kirimoto Hikari, Takahashi Makoto	4. 巻 2023
2. 論文標題 Intramuscular and intermuscular coherence analysis while obstacle crossing during treadmill gait	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Somatosensory & Motor Research	6. 最初と最後の頁 1~11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/08990220.2023.2296516	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Horinouchi Takayuki, Watanabe Tatsunori, Kuwabara Takayuki, Matsumoto Takuya, Yunoki Keisuke, Ito Kanami, Ishida Haruki, Kirimoto Hikari	4. 巻 169
2. 論文標題 Reaction time and brain oscillations in Go/No-go tasks with different meanings of stimulus color	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Cortex	6. 最初と最後の頁 203~219
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.cortex.2023.07.011	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ito Kanami, Watanabe Tatsunori, Horinouchi Takayuki, Matsumoto Takuya, Yunoki Keisuke, Ishida Haruki, Kirimoto Hikari	4. 巻 42
2. 論文標題 Higher synchronization stability with piano experience: relationship with finger and presentation modality	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Journal of Physiological Anthropology	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s40101-023-00327-2	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Watanabe Tatsunori, Chen Xiaoxiao, Yunoki Keisuke, Matsumoto Takuya, Horinouchi Takayuki, Ito Kanami, Ishida Haruki, Sunagawa Toru, Mima Tatsuya, Kirimoto Hikari	4. 巻 517
2. 論文標題 Differential Effects of Transcranial Static Magnetic Stimulation Over Left and Right Dorsolateral Prefrontal Cortex on Brain Oscillatory Responses During a Working Memory Task	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Neuroscience	6. 最初と最後の頁 50~60
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroscience.2023.03.006	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Fiscaro Francesco, Liberto Aldo, Lanza Giuseppe, Bella Rita, Pennisi Giovanni, Ferri Raffaele, Terao Yasuo, Ugawa Yoshikazu, Pennisi Manuela	4. 巻 16
2. 論文標題 The supporting (sometimes decisive!) role of transcranial magnetic stimulation in forensic medicine	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Brain Stimulation	6. 最初と最後の頁 111 ~ 113
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.brs.2023.01.1677	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Geroïn C, Artusi CA, Nonnekes J, Aquino C, Garg D, Dale ML, Scholsser D, Lai Y, Al-Wardat M, Salari M, Wolke R, Labou VT, Imbalzano G, Camossi S, Merello M, Bloem BR, Capato T, Djadetti R, Lopiano L, Margraf NG, Moreau C, Ugawa Y, Bhidayasiri R, Tinassi M	4. 巻 38
2. 論文標題 Axial Postural Abnormalities in Parkinsonism: Gaps in Predictors, Pathophysiology, and Management	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Movement Disorders	6. 最初と最後の頁 732 ~ 739
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/mds.29377	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tokushige Shin-ichi, Matsumoto Hideyuki, Matsuda Shun-ichi, Inomata-Terada Satomi, Kotsuki Naoki, Hamada Masashi, Tsuji Shoji, Ugawa Yoshikazu, Terao Yasuo	4. 巻 15
2. 論文標題 Early detection of cognitive decline in Alzheimer's disease using eye tracking	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Frontiers in Aging Neuroscience	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnagi.2023.1123456	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Jagota Priya, Lim Shen Yang, Pal Pramod Kumar, Lee Jee Young, Kukkle Prashanth Lingappa, Fujioka Shinsuke, Shang Hui-fang, Phokaewvarangkul Onanong, Bhidayasiri Roongroj, Mohamed Ibrahim Norlinah, Ugawa Yoshikazu, Aldaajani Zakayah, Jeon Beomseok, Diesta Cid, Shambetova Cholpon, Lin Chin Hsien	4. 巻 10
2. 論文標題 Genetic Movement Disorders Commonly Seen in Asians	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Movement Disorders Clinical Practice	6. 最初と最後の頁 878 ~ 895
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/mdc3.13737	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hoshi Kyoka, Kanno Mayumi, Goto Aya, Ugawa Yoshikazu, Furukawa Katsutoshi, Arai Hiroyuki, Miyajima Masakazu, Takahashi Koichi, Hattori Kotaro, Kan Keiichi, Saito Takashi, Yamaguchi Yoshiki, Mitsufuji Takashi, Araki Nobuo, Hashimoto Yasuhiro	4. 巻 24
2. 論文標題 Brain-Derived Major Glycoproteins Are Possible Biomarkers for Altered Metabolism of Cerebrospinal Fluid in Neurological Diseases	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 International Journal of Molecular Sciences	6. 最初と最後の頁 6084 ~ 6084
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijms24076084	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Vucic S, et al , Ugawa Y, Ziemann U, Chen R.	4. 巻 150
2. 論文標題 Clinical diagnostic utility of transcranial magnetic stimulation in neurological disorders. Updated report of an IFCN committee	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Clinical Neurophysiology	6. 最初と最後の頁 131 ~ 175
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clinph.2023.03.010	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hoshi Kyoka, Kanno Mayumi, Abe Mitsunari, Murakami Takenobu, Ugawa Yoshikazu, Goto Aya, Honda Takashi, Saito Takashi, Saido Takaomi C., Yamaguchi Yoshiki, Miyajima Masakazu, Furukawa Katsutoshi, Arai Hiroyuki, Hashimoto Yasuhiro	4. 巻 12
2. 論文標題 High Correlation among Brain-Derived Major Protein Levels in Cerebrospinal Fluid: Implication for Amyloid-Beta and Tau Protein Changes in Alzheimer 's Disease	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Metabolites	6. 最初と最後の頁 355 ~ 355
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/metabo12040355	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Jagota P, Ugawa Y, Aldaajani Z, Ibrahim NM, Ishiura H, Nomura Y, Tsuji S, Diesta C, Hattori N, Onodera O, S, Bohlega, AlDin ASN, LIM S-Y, Lee J-Y, Jeon B, Pal PK, Shang H, Fujioka S, Kukkle PL, Phokaewarangkul O, Lin C-H,	4. 巻 16
2. 論文標題 Nine Hereditary Movement Disorders First Described in Asia: Their History and Evolution	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Journal of Movement Disorders	6. 最初と最後の頁 231 ~ 247
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14802/jmd.23065	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Geroïn C, Artusi CA, Nonnekes J, Aquino C, Garg D, Dale ML, Schlosser D, Lai Y, Al-Wardat M, Salari M, Wolke R, Labou VT, Imbalzano G, Camozzi S, Merello M, Bloem BR, Capato T, Djaldeïti R, Doherty K, Fasano A, Tïbar H, Lopiano L, Margraf NG, Moreau C, Ugawa Y, Bhidayasiri R, Tinazzi M.	4. 巻 38
2. 論文標題 Axial Postural Abnormalities in Parkinsonism: Gaps in Predictors, Pathophysiology, and Management	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Movement Disorders	6. 最初と最後の頁 732 ~ 739
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/mds.29377	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nakatani-Enomoto Setsu, Hanajima Ritstuko, Hamada Masashi, Matsumoto Hideyuki, Terao Yasuo, Jun Groiss Stefan, Murakami Takenobu, Abe Mitsunari, Enomoto Hiroyuki, Kawai Kensuke, Kan Rumiko, Niwa Shin-ichi, Yabe Hirooki, Ugawa Yoshikazu	4. 巻 8
2. 論文標題 Quadripulse transcranial magnetic stimulation inducing long-term depression in healthy subjects may increase seizure risk in some patients with intractable epilepsy	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Clinical Neurophysiology Practice	6. 最初と最後の頁 137 ~ 142
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.cnp.2023.07.001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Terao Yasuo, Tokushige Shin-ichi, Inomata-Terada Satomi, Miyazaki Tai, Kotsuki Naoki, Fìsìcaro Francesco, Ugawa Yoshikazu	4. 巻 17
2. 論文標題 How do patients with Parkinson's disease and cerebellar ataxia read aloud? -Eye?voice coordination in text reading	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Frontiers in Neuroscience	6. 最初と最後の頁 1202404
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnins.2023.1202404	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Manto Mario, Serrao Mariano, Filippo Castiglia Stefano, Timmann Dagmar, Tzvi-Minker Elinor, Pan Ming-Kai, Kuo Sheng-Han, Ugawa Yoshikazu	4. 巻 8
2. 論文標題 Neurophysiology of cerebellar ataxias and gait disorders	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Clinical Neurophysiology Practice	6. 最初と最後の頁 143 ~ 160
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.cnp.2023.07.002	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kanovsky P, , Lannuzel A, Ugawa Y, et al	4. 巻 19
2. 論文標題 Endemic parkinsonism: clusters, biology and clinical features	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Nature Reviews Neurology	6. 最初と最後の頁 599 ~ 616
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41582-023-00866-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Inomata-Terada Satomi, Fukuda Hideki, Tokushige Shin-ichi, Matsuda Shun-ichi, Hamada Masashi, Ugawa Yoshikazu, Tsuji Shoji, Terao Yasuo	4. 巻 154
2. 論文標題 Abnormal saccade profiles in hereditary spinocerebellar degeneration reveal cerebellar contribution to visually guided saccades	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Clinical Neurophysiology	6. 最初と最後の頁 70 ~ 84
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clinph.2023.07.006	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Artusi CA, Geroïn C, Nonnekes J, Aquino C, Garg D, Dale ML, Schlosser D, Lai Y, Al-Wardat M, Salari M, Wolke R, Labou VT, Imbalzano G, Camozzi S, Merello M, Bloem BR, Capato T, Djalldetti R, Doherty K, Fasano A, Tibar H, Lopiano L,	4. 巻 10
2. 論文標題 Predictors and Pathophysiology of Axial Postural Abnormalities in Parkinsonism: A Scoping Review	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Movement Disorders Clinical Practice	6. 最初と最後の頁 1585 ~ 1596
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/mdc3.13879	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ugawa Yoshikazu	4. 巻 156
2. 論文標題 Somatosensory cortex/tracts involvement in amyotrophic lateral sclerosis	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Clinical Neurophysiology	6. 最初と最後の頁 249 ~ 250
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clinph.2023.09.009	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Terao Yasuo, Nomura Yoshiko, Fukuda Hideki, Hikosaka Okihide, Kimura Kazue, Matsuda Shun-ichi, Yugeta Akihiro, Fisticaro Francesco, Hoshino Kyoko, Ugawa Yoshikazu	4. 巻 13
2. 論文標題 The Pathophysiology of Gilles de la Tourette Syndrome: Changes in Saccade Performance by Low-Dose L-Dopa and Dopamine Receptor Blockers	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Brain Sciences	6. 最初と最後の頁 1634 ~ 1634
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/brainsci13121634	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Terao Yasuo, Fukuda Hideki, Hikosaka Okihide, Yugeta Akihiro, Matsuda Shun-ichi, Fisticaro Francesco, Ugawa Yoshikazu, Hoshino Kyoko, Nomura Yoshiko	4. 巻 157
2. 論文標題 Age- and sex-related oculomotor manifestation of dopamine deficiency in Segawa disease	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 Clinical Neurophysiology	6. 最初と最後の頁 73 ~ 87
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clinph.2023.11.010	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tokushige S, Matsuda S, Tada M, Yabe I, Takeda A, Hiroyasu Tanaka H, Hatakenaka M, Enomoto H, Kobayashi S, Shimizu K, Shimizu T, Naoki Kotsuki N, Inomata-Terada S, Furubayashi T, Hanajima R, Tsuji S, Ugawa Y, Terao Y	4. 巻 158
2. 論文標題 Roles of the cerebellum and basal ganglia in temporal integration: Insights from a synchronized tapping task	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 Clinical Neurophysiology	6. 最初と最後の頁 1 ~ 15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clinph.2023.11.018	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kanovsky P, Mensikova K, Steele J, Rosales R, Colosimo C, Spencer P, Lannuzel A, Ugawa Y, et al	4. 巻 20
2. 論文標題 Reply to: Questioning the cycad theory of Kii ALS?PDC causation	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 Nature Reviews Neurology	6. 最初と最後の頁 195 ~ 196
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41582-024-00938-y	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sinha Adya saran, Shibata Sumiya, Takamatsu Yasuyuki, Akita Tenpei, Fukuda Atsuo, Mima Tatsuya	4. 巻 44
2. 論文標題 Static magnetic field stimulation enhances shunting inhibition via a SLC26 family Cl ^{sup>?</sup>channel, inducing intrinsic plasticity}	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 The Journal of Neuroscience	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1523/JNEUROSCI.1324-22.2024	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sato Takayuki, Sugaya Takuma, Talukder Ashraf Hossain, Tsushima Yuki, Sasaki Shotaro, Uchida Katsuya, Sato Tatsuya, Ikoma Yoko, Sakimura Kenji, Fukuda Atsuo, Matsui Ko, Itoi Keiichi	4. 巻 35
2. 論文標題 Dual action of serotonin on local excitatory and inhibitory neural circuits regulating the corticotropin releasing factor neurons in the paraventricular nucleus of the hypothalamus	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Journal of Neuroendocrinology	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jne.13351	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nguyen Trong Dao, Ishibashi Masaru, Sinha Adya Saran, Watanabe Miho, Kato Daisuke, Horiuchi Hiroshi, Wake Hiroaki, Fukuda Atsuo	4. 巻 64
2. 論文標題 Astrocytic <sc>NKCC1</sc> inhibits seizures by buffering Cl ^{sup>?</sup> and antagonizing neuronal <sc>NKCC1</sc> at GABAergic synapses}	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Epilepsia	6. 最初と最後の頁 3389 ~ 3403
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/epi.17784	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ping Yashuang, Ohata Kenji, Kikushima Kenji, Sakamoto Takumi, Islam Ariful, Xu Lili, Zhang Hengsen, Chen Bin, Yan Jing, Eto Fumihito, Nakane Chiho, Takao Keizo, Miyakawa Tsuyoshi, Kabashima Katsuya, Watanabe Miho, Kahyo Tomoaki, Yao Ikuko, Fukuda Atsuo, Ikegami Koji, Konishi Yoshiyuki, Setou Mitsutoshi	4. 巻 13
2. 論文標題 Tubulin Polyglutamylation by TLL1 and TLL7 Regulate Glutamate Concentration in the Mice Brain	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Biomolecules	6. 最初と最後の頁 784 ~ 784
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/biom13050784	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Egawa Kiyoshi, Watanabe Miho, Shiraishi Hideaki, Sato Daisuke, Takahashi Yukitoshi, Nishio Saori, Fukuda Atsuo	4. 巻 13
2. 論文標題 Imbalanced expression of cation-chloride cotransporters as a potential therapeutic target in an Angelman syndrome mouse model	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 5685 ~ 5685
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-023-32376-z	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Furukawa Tomonori, Fukuda Atsuo	4. 巻 17
2. 論文標題 Maternal taurine as a modulator of Cl ⁻ homeostasis as well as of glycine/GABA _A receptors for neocortical development	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Frontiers in Cellular Neuroscience	6. 最初と最後の頁 1221441 ~ 1221441
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fncel.2023.1221441	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Bando Yuki, Ishibashi Masaru, Yamagishi Satoru, Fukuda Atsuo, Sato Kohji	4. 巻 16
2. 論文標題 Orchestration of Ion Channels and Transporters in Neocortical Development and Neurological Disorders	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Frontiers in Neuroscience	6. 最初と最後の頁 827284 ~ 827284
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnins.2022.827284	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Usami Takuya, Takada Naoya, Nishida Kazuki, Sakai Hiroaki, Iwata Hidetoshi, Yonezu Hiroki, Sekiya Isato, Nagaya Yuko, Ueki Yoshino, Murakami Hideki, Kuroyanagi Gen	4. 巻 9
2. 論文標題 Fixation of intra-articular calcaneal fractures: A comparative study of the postoperative outcome between HA/PPLA screws and locking plates	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Heliyon	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.heliyon.2023.e14046	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Shimizu Yoko, Tanikawa Motoki, Horiba Mitsuya, Sahashi Kento, Kawashima Shoji, Kandori Akihiko, Yamanaka Tomoyasu, Nishikawa Yusuke, Matsukawa Noriyuki, Ueki Yoshino, Mase Mitsuhiro	4. 巻 17
2. 論文標題 Clinical utility of paced finger tapping assessment in idiopathic normal pressure hydrocephalus	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Frontiers in Human Neuroscience	6. 最初と最後の頁 1109670 ~ 1109670
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnhum.2023.1109670	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Usami Takuya, Takada Naoya, Iwata Hidetoshi, Sakai Hiroaki, Hattori Yusuke, Sekiya Isato, Ueki Yoshino, Nagaya Yuko, Murakami Hideki, Kuroyanagi Gen	4. 巻 25
2. 論文標題 A biomechanical analysis of the effect of hydroxyapatite augmentation for trochanteric femoral fractures	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Experimental and Therapeutic Medicine	6. 最初と最後の頁 256 ~ 256
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3892/etm.2023.11955	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sakai Hiroaki, Watanabe Nobuyuki, Kuroyanagi Gen, Fukuoka Muneyoshi, Usami Takuya, Ueki Yoshino, Murakami Hideki	4. 巻 33
2. 論文標題 Clinical and radiographic outcomes of primary total hip arthroplasty with the revelation hip system using density mapping	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 European Journal of Orthopaedic Surgery & Traumatology	6. 最初と最後の頁 435 ~ 440
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00590-022-03210-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Imamura Atsushi, Kuroyanagi Gen, Usami Takuya, Sato Toyohiro, Horiba Mitsuya, Sakai Hiroaki, Takahashi Ayaka, Ueki Yoshino, Matsukawa Noriyuki, Murakami Hideki	4. 巻 15
2. 論文標題 Levodopa Carbidopa Intestinal Gel Injection for Patient with Severe Parkinson's Disease Followed by Total Hip Arthroplasty: A Case Report and Literature Review	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Orthopaedic Surgery	6. 最初と最後の頁 2993 ~ 2999
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/os.13879	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nojima Ippei, Horiba Mitsuya, Sahashi Kento, Koganemaru Satoko, Murakami Satona, Aoyama Kiminori, Matsukawa Noriyuki, Ono Yumie, Mima Tatsuya, Ueki Yoshino	4. 巻 94
2. 論文標題 Gait-combined closed-loop brain stimulation can improve walking dynamics in Parkinsonian gait disturbances: a randomised-control trial	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Journal of Neurology, Neurosurgery & Psychiatry	6. 最初と最後の頁 938 ~ 944
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1136/jnnp-2022-329966	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Koketsu Shinnosuke, Matsubara Kohki, Ueki Yoshino, Shinohara Yoshiaki, Inoue Koichi, Murakami Satona, Ueki Takatoshi	4. 巻 10
2. 論文標題 The defects of the hippocampal ripples and theta rhythm in depression, and the effects of physical exercise on their amelioration	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 Heliyon	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.heliyon.2023.e23738	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Uchida Y, Kan H, Onda K, Sakurai K, Takada K, Ueki Y(correspondence), Matsukawa N, Hillis AE, Oishi K	4. 巻 55
2. 論文標題 Longitudinal changes in iron and Myelination Within Ischemic associate with neurological outcomes: A Pilot Study	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 Stroke	6. 最初と最後の頁 1041 ~ 1050
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1161/STROKEAHA.123.044606	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Kawaguchi Shohei, Kan Hirohito, Uchida Yuto, Kasai Harumasa, Hiwatashi Akio, Ueki Yoshino	4. 巻 109
2. 論文標題 Anisotropy of the R1/T2* value dependent on white matter fiber orientation with respect to the B0 field	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 Magnetic Resonance Imaging	6. 最初と最後の頁 83 ~ 90
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.mri.2024.02.010	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tonita Nozomi, Katayama Hiroki, Kurihara Yuto, Takahashi Toru, Shibata Sumiya, Mima Tatsuya, Osu Rieko, Kumano Hiroaki	4. 巻 18
2. 論文標題 Tackling social anxiety with targeted brain stimulation: investigating the effects of transcranial static magnetic field stimulation on self-focused attention	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 Frontiers in Behavioral Neuroscience	6. 最初と最後の頁 1373564 ~ 1373564
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnbeh.2024.1373564	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 田中 武也, 佐藤 岳史, 岩根 宏, 杉江 加代子, 谷 杏平, 川瀬 智隆, 江藤 謹司, 堀口 聡士, 小室 太郎, 美馬 達哉	4. 巻 50(2)
2. 論文標題 経頭蓋的直流電気刺激が脳卒中後慢性疼痛に有効であった症例の集積	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 総合リハビリテーション	6. 最初と最後の頁 185-188
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11477/mf.1552202429	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ogawa A, Koganemaru S, Takahashi T, Takemura Y, Irisawa H, Matsushashi M, Mima T, Mizushima T, & Kansaku K	4. 巻 16
2. 論文標題 Case Report: Event-Related Desynchronization Observed During Volitional Swallow by Electroencephalography Recordings in ALS Patients with Dysphagia.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Frontiers in Behavioral Neuroscience	6. 最初と最後の頁 798375
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnbeh.2022.798375	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nojima I, Sugata H, Takeuchi H, & Mima T.	4. 巻 36(2)
2. 論文標題 Brain Computer Interface Training Based on Brain Activity Can Induce Motor Recovery in Patients With Stroke: A Meta-Analysis.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Neurorehabilitation and Neural Repair	6. 最初と最後の頁 83-96
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/15459683211062895	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Gyoda T, Nojima I, Lin Su-C, Koganemaru S, Mima T, Tanabe S, & Huang Ying-Zu	4. 巻 488
2. 論文標題 Strengthening the GABAergic System Through Neurofeedback Training Suppresses Implicit Motor Learning.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Neuroscience	6. 最初と最後の頁 112-121
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroscience.2022.02.002	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hamada M, Matsubayashi J, Tanaka K, Furuya M, Matsuhashi M, Mima T, Fukuyama H, Mitani A	4. 巻 -
2. 論文標題 People with High Empathy Show Increased Cortical Activity Around the Left Medial Parieto-Occipital Sulcus after Watching Social Interaction of On-screen Characters.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Cerebral Cortex	6. 最初と最後の頁 1-21
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/cercor/bhab435	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Watanabe T, Kubo N, Chen X, Yunoki K, Matsumoto T, Kuwabara T, Sunagawa T, Date S, Mima T & Kirimoto H	4. 巻 11(4)
2. 論文標題 Null effect of transcranial static magnetic field stimulation over the dorsolateral prefrontal cortex on behavioral performance in a go/nogo task.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Brain Sciences	6. 最初と最後の頁 483
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/brainsci11040483	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Koganemaru S, Mizuno F, Takahashi T, Takemura Y, Irisawa H, Matsuhashi M, Mima T, Mizushima T & Kansaku K	4. 巻 15
2. 論文標題 Event-Related Desynchronization and Corticomuscular Coherence Observed During Volitional Swallow by Electroencephalography Recordings in Humans.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Frontiers in Human Neuroscience	6. 最初と最後の頁 643454
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnhum.2021.643454	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Matsubara T, Ahlfors S.P, Mima T, Hagiwara K, Shigeto H, Tobimatsu S, Goto Y & Stufelbeam S	4. 巻 12
2. 論文標題 Bilateral Representation of Sensorimotor Responses in Benign Adult Familial Myoclonus Epilepsy: An MEG Study.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Frontiers in Neurology	6. 最初と最後の頁 759866
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fneur.2021.759866	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tonomura T, Satow T, Hyuga Y & Mima T	4. 巻 14 (6)
2. 論文標題 Use of transcranial direct current stimulation in poststroke postural imbalance.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 BMJ Case Report	6. 最初と最後の頁 243212
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1136/bcr-2021-243212	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shibata S, Watanabe T, Yukawa Y, Minakuchi M, Shimomura R, Ichimura S, Kirimoto H & Mima, T	4. 巻 11(1)
2. 論文標題 Effects of transcranial static magnetic stimulation over the primary motor cortex on local and network spontaneous electroencephalogram oscillations.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Scientific Reports,	6. 最初と最後の頁 8261
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-021-87746-2	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Chen X, Watanabe T, Kubo N, Yunoki K, Matsumoto T, Kuwabara T, Sunagawa T, Date S, Mima T & Kirimoto H.	4. 巻 11(6)
2. 論文標題 Transient modulation of working memory performance and event-related potentials by transcranial static magnetic field stimulation over the dorsolateral prefrontal cortex	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Brain Sciences	6. 最初と最後の頁 739
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/brainsci11060739	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Watanabe T, Mima T, Shibata S & Kirimoto H	4. 巻 235
2. 論文標題 Midfrontal theta as moderator between beta oscillations and precision control	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 NeuroImage	6. 最初と最後の頁 118022
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroimage.2021.118022	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nakajima T, Sankai Y, Takata S, Kobayashi Y, Mima T, et al.	4. 巻 16
2. 論文標題 Cybernetic treatment with wearable cyborg Hybrid Assistive Limb (HAL) improves ambulatory function in patients with slowly progressive rare neuromuscular diseases: a multicentre , randomised , controlled crossover trial for efficacy and safety (NCY-30)	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Orphanet Journal of Rare Diseases	6. 最初と最後の頁 304
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s13023-021-01928-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Shiroshita Y, Kirimoto H, Ozawa M, Watanabe T, Uematsu H, Yunoki K, Sobue I.	4. 巻 8(2)
2. 論文標題 Can Event-Related Potentials Evoked by Heel Lance Assess Pain Processing in Neonates A Systematic Review.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 children	6. 最初と最後の頁 58-58
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/children8020058	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Matsumoto T, Watanabe T, Kuwabara T, Yunoki K, Chen X, Kubo N, Kirimoto H.	4. 巻 17
2. 論文標題 Excitability of the ipsilateral primary motor cortex during unilateral goal-directed movement	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Frontiers in Human Neuroscience Brain Imaging and Stimulation	6. 最初と最後の頁 617146
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnhum.2021.617146	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Watanabe T, Kubo N, Chen X, Yunoki K, Matsumoto T, Kuwabara T, Sunagawa T, Date S, Mima T, Kirimoto H	4. 巻 11(4)
2. 論文標題 Null Effect of Transcranial Static Magnetic Field Stimulation over the Dorsolateral Prefrontal Cortex on Behavioral Performance in a Go/NoGo Task	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Brain Sciences	6. 最初と最後の頁 483
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/brainsci11040483	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kubo N, Watanabe T, Chen X, Matsumoto T, Yunoki K, Kuwabara T, Kirimoto H	4. 巻 15
2. 論文標題 The effect of prior knowledge of color on behavioral responses and event-related potentials during Go/No-go task	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Frontiers in Human Neuroscience Brain Imaging and Stimulation	6. 最初と最後の頁 674964
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnhum.2021.674964	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Shiroshita Y, Kirimoto H, Watanabe T, Yunoki K, Sobue I.	4. 巻 9
2. 論文標題 Event-related potentials evoked by skin puncture reflect activation of A fibers: comparison with intraepidermal and transcutaneous electrical stimulations	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Peer J	6. 最初と最後の頁 e12250
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.7717/peerj.12250	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yuya Nagashima, Daigo Ito, Ryo Ogura, Takanori Tominaga, Yumie Ono	4. 巻 10
2. 論文標題 Gait Training in Virtual Reality Home Environment for Stroke Patients: A Case Study	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Advanced Biomedical Engineering	6. 最初と最後の頁 150-157
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14326/abe.10.150	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yuya Nagashima, Daigo Ito, Ryo Ogura, Takanori Tominaga, Yumie Ono	4. 巻 2021
2. 論文標題 Development of virtual reality-based gait training system simulating personal home environment.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 The 43rd Annual International Conference of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society (EMBC'21)	6. 最初と最後の頁 5764-5767
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1109/EMBC46164.2021.9631077	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Gyoda T, Ishida K, Watanabe T, Nojima I	4. 巻 766
2. 論文標題 Repetitive training of contralateral limb through reconsolidation strengthens motor skills	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Neurosci Letters	6. 最初と最後の頁 136306
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neulet.2021.136306	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ogawa A, Koganemaru S, Takahashi T, Takemura Y, Irisawa H, Matsushashi M, Mima T, Mizushima T, Kansaku K.	4. 巻 16
2. 論文標題 Case Report: Event-Related Desynchronization Observed During Volitional Swallow by Electroencephalography Recordings in ALS Patients With Dysphagia.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Front Behav Neurosci.	6. 最初と最後の頁 798375
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnbeh.2022.798375	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Gyoda T, Nojima I, Lin SC, Koganemaru S, Mima T, Tanabe S, Huang YZ.	4. 巻 488
2. 論文標題 Strengthening the GABAergic System Through Neurofeedback Training Suppresses Implicit Motor Learning.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Neuroscience	6. 最初と最後の頁 112-121
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroscience.2022.02.002	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Mizuno F, Koganemaru S, Irisawa H, Saito A, Mizushima T.	4. 巻 6
2. 論文標題 Knee Valgus during Jump Landing Is Related to the Inaccuracy of Knee Position Recognition in Healthy Young Women.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Women. Prog Rehabil Med.	6. 最初と最後の頁 20210041
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2490/prm.20210041	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 小金丸 聡子	4. 巻 49(4)
2. 論文標題 リハビリテーション医学と動的ヘテラルキ-	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 総合リハビリテーション	6. 最初と最後の頁 327
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11477/mf.1552202190	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tokushige S, Matsuda S, Inomata-Terada S, Hamada M, Ugawa Y, Tsuji S, Terao Y.	4. 巻 132(1)
2. 論文標題 Premature saccades: A detailed physiological analysis	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Clinical Neurophysiology	6. 最初と最後の頁 63-76
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clinph.2020.09.026	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kobayashi S, Hirose M, Akutsu Y, Hirayama K, Ishida Y, Ugawa Y.	4. 巻 34(3)
2. 論文標題 Disconnected motor intention and spatial attention in a case of probable Marchiafava-Bignami disease.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Cognitive and Behavioral Neurology	6. 最初と最後の頁 226-232
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/WNN.0000000000000274	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Terao Y, Tokushige S, Inomata-Terada S, Fukusda H, Yugeta A, Ugawa Y.	4. 巻 138
2. 論文標題 Deciphering the saccade velocity profile of progressive supranuclear palsy: A sign of latent cerebellar/brainstem dysfunction	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Clinical Neurophysiology	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clinph.2020.12.023	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Chang F, Wiratman W, Ugawa Y, Kobayashi S.	4. 巻 15
2. 論文標題 Event-Related Potentials During Decision-Making in a Mixed-Strategy Game.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Frontiers in neuroscience	6. 最初と最後の頁 552750
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnins.2021.552750	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Terao Y, Honma M, Asahara Y, Tokushige S, Furubayashi T, Miyazaki T, Inomata-Terada S, Uchibori A, Miyagawa S, Ichikawa Y, Chiba A, Ugawa Y, Suzuki M	4. 巻 15
2. 論文標題 Time distortion in parkinsonism.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Frontiers in neuroscience	6. 最初と最後の頁 648814
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnins.2021.648814	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Murakami T, Kishi M, Ugawa Y, Hanajima R.	4. 巻 206
2. 論文標題 Bilateral asterixis in a patient with bilateral anterior cerebral artery infarction.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Clinical Neurology and Neurosurgery	6. 最初と最後の頁 106716
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clineuro.2021.106716	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Di Lassoro V, Bella R, Benussi A, Bologna M, Borroni B, Capone F, Chen KS, Chen R, chistyakov AV, Classen J, Kiernan MC, Koch G, Lanza G, Lefaucheur JP, Matsumoto H, Nguyen JP, Orth M, Pascual-Leone A, Rektorova I, Simko P, Taylor JP, Tremblay S, Ugawa Y, Dubbioso R, Ranieri F.	4. 巻 132(10)
2. 論文標題 Diagnostic contribution and therapeutic perspectives of transcranial magnetic stimulation in dementia.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Clinical Neurophysiology	6. 最初と最後の頁 2568-2608
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clinph.2021.05.035	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Okano T, Daikoku T, Ugawa Y, Kanai K, Yumoto M.	4. 巻 168
2. 論文標題 Perceptual uncertainty modulates auditory statistical learnin: A magneticeicephalography study.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 International Journal of Psychophysiology	6. 最初と最後の頁 65-71
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ijpsycho.2021.08.002	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hoshi K, Ito K, Abe E, Fuwa TJ, Kanno M, Murakami Y, Abe M, Muramami T, Yoshibara A, Ugawa Y, Saito T, Saido TC, MatsumotoK, Yamaguchi Y, FurukawaK, Arai H, Kanai M, Miyajima M, Arai H, Ogawa N, Akatsu J, Hashizume Y, Tateno H, Honda T, Hashimoto Y.	4. 巻 11(9)
2. 論文標題 Transferrin biosynthesized in the brain is a novel biomarker for Alzheimer 's disease.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Metabolites	6. 最初と最後の頁 616
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/metabo11090616	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yamaguchi N, Matsuda S, Matsumoto J, Ugawa Y, Shimizu J, Toda T, Sonoo M, Yoshizawa T.	4. 巻 -
2. 論文標題 Rippling muscle disease with irregular toe jerks and anti-acetylcholine receptor antibodies; remission after extended thymectomy.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Internal medicine	6. 最初と最後の頁 1-4
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2169/internalmedicine.8146-21	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sasada S, Kadowaki S, Tazoe T, Murayama T, Kato K, Nakao Y, Matusmoto H, Nishimura Y, Ugawa Y.	4. 巻 132
2. 論文標題 Assessment of Safety Issues of Self-controlled Repetitive Trans-vertebral Magnetic Stimulation.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Clin Neurophysiol	6. 最初と最後の頁 3166-3176
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clinph.2021.09.016	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Revankar GS, Kajiyama Y, Gon Y, Ogasawara I, Hattori N, Nakano T, Kawamura S, Ugawa Y, Nakata K, Mochizuki H.	4. 巻 11
2. 論文標題 Perception of yips among professional Japanese golfers: perspectives from a network modelled approach.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 20128
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-021-99128-9.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Yamashita A, Murakami T, Hattori N, Miyai I, Ugawa Y.	4. 巻 16(11)
2. 論文標題 Intensity dependency of peripheral nerve stimulation in spinal LTP induced by paired associative corticospinal-motoneuronal stimulation (PCMS).	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Plos One	6. 最初と最後の頁 e0259931
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0259931. eCollection 2021.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Manto M, Argyropoulos GPD, Bocci T, Celnik PA, Corben LA, Guidetti M, Koch G, Prior A, Rhtowell JC, Sandnicka A, Ugawa Y, Wessel MJ, Ferrucci R.	4. 巻 -
2. 論文標題 Consensus Paper: Novel Directions and Next Steps of Non-invasive Brain Stimulation of the Cerebellum in Health and Disease	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 The Cerebellum	6. 最初と最後の頁 1-31
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s12311-021-01344-6	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 加藤 弘之, 村上 丈伸, 田尻 佑喜, 山口 徳也, 宇川 義一, 花鳥 律子	4. 巻 61(5)
2. 論文標題 右中大脳動脈領域脳梗塞に左片側舞蹈運動を呈した一例	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 臨床神経学	6. 最初と最後の頁 325-328
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5692/clinicalneuroi.cn-001527	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Mutoh H, Aoto K, Miyazaki T, Fukuda A, Saitsu H.	4. 巻 100
2. 論文標題 Elucidation of pathological mechanism caused by human disease mutation in CaMKII	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Journal of Neuroscience Research	6. 最初と最後の頁 880-896
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/jnr.25013	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Bando Y, Ishibashi M, Yamagishi S, Fukuda A, Sato K.	4. 巻 16
2. 論文標題 Orchestration of Ion Channels and Transporters in Neocortical Development and Neurological Disorders	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Frontiers in Neuroscience	6. 最初と最後の頁 827284
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnins.2022.827284	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tochitani S, Furukawa T, Bando R, Kondo S, Ito T, Matsushima Y, Kojima T, Matsuzaki H, Fukuda A.	4. 巻 31
2. 論文標題 GABAA receptors and maternally derived taurine regulate the temporal specification of progenitors of excitatory glutamatergic neurons in the mouse developing cortex.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Cerebral Cortex	6. 最初と最後の頁 4554-4575
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/cercor/bhab106	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Meng Hong-Rui, Suenaga T, Edamura M, Fukuda A, Ishida Y, Nakahara D, Murakami G.	4. 巻 97
2. 論文標題 Functional MHC1 deficiency induces ADHD-like symptoms with increased dopamine D1 receptor expression	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Brain, Behavior, and Immunity	6. 最初と最後の頁 22-31
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbi.2021.05.015	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Aoto K, Kato M, Akita T, Nakashima M, Mutoh H, Akasaka N, Tohyama J, Nomura Y, Hoshino K, Ago Y, Tanaka R, Epstein O, Ben-Haim R, Heyman E, Miyazaki T, Belal H, Takabayashi S, Ohba C, Takata A, Mizuguchi T, Miyatake S, Miyake N, Fukuda A, Matsumoto N, Saitzu H.	4. 巻 12
2. 論文標題 ATP6V0A1 encoding the a1-subunit of the V0 domain of vacuolar H+-ATPases is essential for brain development in humans and mice	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Nature Communications	6. 最初と最後の頁 2107
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-021-22389-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Takamatsu Y, Koganemaru S, Watanabe T, Shibata S, Yukawa Y, Minakuchi M, Shimomura R, & Mima T	4. 巻 11(1)
2. 論文標題 Transcranial static magnetic stimulation over the motor cortex can facilitate the contralateral cortical excitability in human.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 5370
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-021-84823-4	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nojima I, Suwa Y, Sugiura H, Noguchi T, Tanabe S, Mima T, & Watanabe T	4. 巻 71
2. 論文標題 Smaller muscle mass is associated with increase in EMG?EMG coherence of the leg muscle during unipedal stance in elderly adults.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Human Movement Science	6. 最初と最後の頁 102614
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.humov.2020.102614	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Maezawa H, Koganemaru S, Matsuhashi M, Hirata M, Funahashi M, & Mima T	4. 巻 156
2. 論文標題 Entrainment of chewing rhythm by gait speed during treadmill walking in humans.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Neuroscience Research	6. 最初と最後の頁 88-94
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neures.2020.02.008	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yoshinaga K, Matsuhashi M, Mima T, Fukuyama H, Takahashi R, Hanakawa T, & Ikeda A	4. 巻 14
2. 論文標題 Comparison of Phase Synchronization Measures for Identifying Stimulus-Induced Functional Connectivity in Human Magnetoencephalographic and Simulated Data.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Frontiers in Neuroscience	6. 最初と最後の頁 648
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnins.2020.00648	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Watanabe T, Nojima I, Mima T, Sugiura H, & Kirimoto H	4. 巻 220
2. 論文標題 Magnification of visual feedback modulates corticomuscular and intermuscular coherences differently in young and elderly adults.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 NeuroImage	6. 最初と最後の頁 117089
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroimage.2020.117089	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nambu A, Tsuda I, & Mima T	4. 巻 156
2. 論文標題 Oscillology: Nonlinear Neural Oscillations.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Neuroscience Research	6. 最初と最後の頁 1-4
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neures.2020.05.007	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kitatani R, Koganemaru S, Maeda A, Mikami Y, Matsuhashi M, Mima T, & Yamada S	4. 巻 52(12)
2. 論文標題 Gait-combined transcranial alternating current stimulation modulates cortical control of muscle activities during gait.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 European Journal of Neuroscience	6. 最初と最後の頁 4791-4802
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ejn.14919	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kirimoto H, Watanabe T, Kubo N, Date S, Sunagawa T, Mima T, Ogata K, Nakazono H, Tobimatsu S, & Oliviero A	4. 巻 10(12)
2. 論文標題 Influence of static magnetic field stimulation on the accuracy of tachystoscopically presented line bisection.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Brain Sciences	6. 最初と最後の頁 1-14
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/brainsci10121006	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 湯川 喜裕, 中村 一仁, 水口 雅俊, 下村 亮太, 美馬 達哉	4. 巻 39(4)
2. 論文標題 脳卒中片麻痺患者における反復経頭蓋磁気刺激と作業療法の併用効果 手指運動麻痺の軽度群と重度群の2群間における治療効果の差	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 作業療法	6. 最初と最後の頁 406-413
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.32178/jotr.39.4_406	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tsuru D, Watanabe T, Chen X, Kubo N, Sunagawa T, Mima T, Kirimoto H	4. 巻 723
2. 論文標題 The effects of transcranial static magnetic fields stimulation over the supplementary motor area on anticipatory postural adjustments	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Neuroscience Letters	6. 最初と最後の頁 134863
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neulet.2020.134863	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Shiroshita Y, Kirimoto H, Nakagawa K, Uematsu H, Sobue I	4. 巻 7
2. 論文標題 Evoked Potential as a Pain Evaluation Index for Neonatal Procedural Pain	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Nursing & Clinical Practices	6. 最初と最後の頁 323
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15344/2394-4978/2020/323.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 H. Sugata, K. Yagi, S. Yazawa, Y. Nagase, K. Tsuruta, T. Ikeda, I. Nojima, M. Hara, K. Matsushita, K. Kawakami and K. Kawakami	4. 巻 210
2. 論文標題 Role of beta-band resting-state functional connectivity as a predictor of motor learning ability	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 NeuroImage	6. 最初と最後の頁 116562
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroimage.2020.116562	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 I. Nojima, A. Oliviero and T. Mima	4. 巻 156
2. 論文標題 Transcranial static magnetic stimulation -From bench to bedside and beyond	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Neuroscience Research	6. 最初と最後の頁 250-255
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neures.2019.12.005	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 K. Motomura, H. Takeuchi, I. Nojima, K. Aoki, L. Chalise, K. Iijima, T. Wakabayashi and A. Natsume	4. 巻 10
2. 論文標題 Navigated repetitive transcranial magnetic stimulation as preoperative assessment in patients with brain tumors	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 9044
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-65944-8	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 S Kuriki, S Higuchi, H Nakayama, S Mihara, Y Okazaki, Y Ono, H Kobayashi	4. 巻 15
2. 論文標題 Neurobiological influence of comorbid conditions in young patients diagnosed with gaming disorder: a whole-brain functional connectivity study based on a data driven method	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 PLOS ONE	6. 最初と最後の頁 e0233780
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0233780	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tochitani S, Furukawa T, Bando R, Kondo S, Ito T, Matsushima Y, Kojima T, Matsuzaki H, Fukuda A.	4. 巻 31(10)
2. 論文標題 GABAA receptors and maternally derived taurine regulate the temporal specification of progenitors of excitatory glutamatergic neurons in the mouse developing cortex.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Cerebral Cortex	6. 最初と最後の頁 4554-4575
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/cercor/bhab106	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Aoto K, Kato M, Akita T, Nakashima M, Mutoh H, Akasaka N, Tohyama J, Nomura Y, Hoshino K, Ago Y, Tanaka R, Epstein O, Ben-Haim R, Heyman E, Miyazaki T, Belal H, Takabayashi S, Ohba C, Takata A, Mizuguchi T, Miyatake S, Miyake N, Fukuda A, Matsumoto N, Saito H.	4. 巻 12
2. 論文標題 ATP6V0A1 encoding the a1-subunit of the V0 domain of vacuolar H ⁺ -ATPases is essential for brain development in humans and mice.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Nature Communications	6. 最初と最後の頁 2107
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-021-22389-5.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Akita T, Fukuda A.	4. 巻 472
2. 論文標題 Intracellular Cl ⁻ dysregulation causing and caused by pathogenic neuronal activity.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Pflugers Archiv - European Journal of Physiology	6. 最初と最後の頁 977-987
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00424-020-02375-4	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Luhmann HJ, Fukuda A.	4. 巻 62
2. 論文標題 Can we understand human brain development from experimental studies in rodents?	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Pediatrics International	6. 最初と最後の頁 1139-1144
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ped.14339	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Uchida Y, Kan H, Sakurai K, Arai N, Inui S, Kobayashi S, Kato D, Ueki Y, and Matsukawa N.	4. 巻 95(9)
2. 論文標題 Iron leakage owing to blood-brain barrier disruption in small vessel disease CADASIL.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Neurology	6. 最初と最後の頁 e1188-e1198
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1212/WNL.0000000000010148. Epub 2020 Jun 25.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Uchida Y, Kan H, Sakurai K, Inui S, Kobayashi S, Akagawa Y, Shibuya K, Ueki Y, Matsukawa N.	4. 巻 35(8)
2. 論文標題 Magnetic susceptibility associates with dopaminergic deficits and cognition in Parkinson's disease.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Mov Disord	6. 最初と最後の頁 1396-1405
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/mds.28077. Epub 2020 May 5.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shefner JM, Al-Chalabi A, Baker MR, Cui LY, de Carvalho M, Eisen A, Grosskreutz J, Hardiman O, Henderson R, Matamala JM, Mitsumoto H, Paulus W, Simon N, Swash M, Talbot K, Turner MR, Ugawa Y, van den Berg LH, Verdugo R, Vucic S, Kaji R, Burke D, Kiernan MC	4. 巻 131
2. 論文標題 A proposal for new diagnostic criteria for ALS.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Clinical neurophysiology : official journal of the International Federation of Clinical Neurophysiology	6. 最初と最後の頁 1975-1978
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clinph.2020.04.005	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Tokimura R, Murakami T, Ugawa Y	4. 巻 131
2. 論文標題 Central motor conduction time reveals upper motor neuron involvement masked by lower motor neuron impairment in a significant portion of patients with amyotrophic lateral sclerosis.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Clinical neurophysiology : official journal of the International Federation of Clinical Neurophysiology	6. 最初と最後の頁 1896-1901
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clinph.2020.05.021	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shimizu T, Tsutsumi R, Shimizu K, Tominaga N, Nagai M, Ugawa Y, Nishiyama K, Hanajima R	4. 巻 415
2. 論文標題 Differential effects of thyrotropin releasing hormone (TRH) on motor execution and motor adaptation process in patients with spinocerebellar degeneration.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of the neurological sciences	6. 最初と最後の頁 116927
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jns.2020.116927	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Terao Y, Matsuda SI, Ishiura H, Tsuji S, Yamamoto T, Fukuda H, Ugawa Y	4. 巻 131
2. 論文標題 Do eye movements "age" earlier in progeria?	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Clinical neurophysiology : official journal of the International Federation of Clinical Neurophysiology	6. 最初と最後の頁 1835-1836
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clinph.2020.05.019	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nakatani-Enomoto S, Yamazaki M, Nishiura K, Enomoto H, Ugawa Y	4. 巻 156
2. 論文標題 Effects of electromagnetic fields from long-term evolution on awake electroencephalogram in healthy humans.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Neuroscience research	6. 最初と最後の頁 102-107
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neures.2020.01.010	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ugawa Y, Shimo Y, Terao Y	4. 巻 13
2. 論文標題 Future of Tanscranial Magnetic Stimulation in Movement Disorders: Introduction of Novel Methods.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of movement disorders	6. 最初と最後の頁 115-117
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14802/jmd.19083	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Gomez-Tames J., Laakso I., Murakami T., Ugawa Y., Hirata A.	4. 巻 17
2. 論文標題 TMS activation site estimation using multiscale realistic head models	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Neural Engineering	6. 最初と最後の頁 36004
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/1741-2552/ab8ccf	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Hanajima R, Ugawa Y	4. 巻 156
2. 論文標題 Triad TMS of the human motor cortex.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Neuroscience research	6. 最初と最後の頁 245-249
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neures.2019.11.005	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ugawa Y	4. 巻 156
2. 論文標題 Voluntary and involuntary movements: A proposal from a clinician.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Neuroscience research	6. 最初と最後の頁 80-87
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neures.2019.10.001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 宇川 義一	4. 巻 37
2. 論文標題 World Congress of Neurology 2019, WCN2019 (WCN 2019) に参加して	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 神経治療学	6. 最初と最後の頁 53-54
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15082/jsnt.37.1_53	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ugawa Y, Rothwell JC, Paulus W	4. 巻 156
2. 論文標題 Possible role of backpropagating action potentials in corticospinal neurons in l-wave periodicity following a TMS pulse.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Neuroscience research	6. 最初と最後の頁 234-236
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neures.2019.10.005	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Matsumoto H, Ugawa Y	4. 巻 238
2. 論文標題 Quadripulse stimulation (QPS).	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Experimental brain research	6. 最初と最後の頁 1619-1625
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00221-020-05788-w	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ugawa Y	4. 巻 72(11)
2. 論文標題 TMS Intervention of Human Neuronal Network	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Brain and nerve	6. 最初と最後の頁 1239-1246
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11477/mf.1416201675	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tiksnadi A, Murakami T, Wiratman W, Matsumoto H, Ugawa Y	4. 巻 13
2. 論文標題 Direct comparison of efficacy of the motor cortical plasticity induction and the interindividual variability between TBS and QPS.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Brain stimulation	6. 最初と最後の頁 1824-1833
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.brs.2020.10.014	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Ko Tetsuhisa, Fujii Hideki, Doi Haruna, Fukuma Taito, Kadono Toru, Asaeda Kohei, Kobayashi Reo, Nakano Takahiro, Doi Toshifumi, Nakatsugawa Yoshikazu, Yamada Shinya, Nishimura Takeshi, Tomatsuri Naoya, Sato Hideki, Okuyama Yusuke, Kimura Hiroyuki, Yoshida Norimasa	4. 巻 13
2. 論文標題 Idiopathic hypereosinophilic syndrome with formation of multiple liver mass lesions	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Clinical Journal of Gastroenterology	6. 最初と最後の頁 834-838
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s12328-020-01113-8	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Matsumoto H, Uchio N, Hao A, Haga M, Abe C, Sakamoto Y, Ugawa Y	4. 巻 12
2. 論文標題 Prominent Prolongation of Cortical Silent Period Induced by Transcranial Magnetic Stimulation in Creutzfeldt-Jakob Disease.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Case reports in neurology	6. 最初と最後の頁 447-541
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1159/000510395	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Rossi S., , , , , Ugawa Y., Wassermann E.M., Zangen A., Ziemann U., Hallett M.	4. 巻 132(1)
2. 論文標題 Safety and recommendations for TMS use in healthy subjects and patient populations, with updates on training, ethical and regulatory issues: Expert Guidelines	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Clinical Neurophysiology	6. 最初と最後の頁 269-306
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clinph.2020.10.003	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Fried PJ, Santaronechi E, Antal A, Bartres-Faz D, Bestmann S, Carpenter LL, Celnik P, Edwards D, Farzan F, Fecteau S, George MS, He B, Kim YH, Leocani L, Lisanby SH, Loo C, Luber B, Nitsche MA, Paulus W, Rossi S, Rossini PM, Rothwell J, Sack AT, Thut G, Ugawa Y, Ziemann U, Hallett M, Pascual-Leone A	4. 巻 132(3)
2. 論文標題 Training in the practice of noninvasive brain stimulation: Recommendations from an IFCN committee.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Clinical Neurophysiology	6. 最初と最後の頁 819-837
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clinph.2020.11.018	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Tomohiko Murai, Takefumi Hitomi, Masao Matsuhashi, Riki Matsumoto, Yuki Kawamura, Masutaro Kanda, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda	4. 巻 37
2. 論文標題 Scalp EEG Could Record Both Ictal Direct Current Shift and High-Frequency Oscillation Together Even With a Time Constant of 2 Seconds	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Clinical Neurophysiology	6. 最初と最後の頁 191-194
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/WNP.0000000000000670	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Katsuya Kobayashi, Riki Matsumoto, Kiyohide Usami, Masao Matsuhashi, Akihiro Shimotake, Takayuki Kikuchi, Kazumichi Yoshida, Takeharu Kunieda, Susumu Miyamoto, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda	4. 巻 132
2. 論文標題 Cortico-cortical evoked potential by single-pulse electrical stimulation is a generally safe procedure	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Clinical Neurophysiology	6. 最初と最後の頁 1033-1040
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clinph.2020.12.022	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Taku Inada, Katsuya Kobayashi, Takayuki Kikuchi, Masao Matsuhashi, Riki Matsumoto, Yuki Takahashi, Takuro Nakae, Sumiya Shibata, Yukihiro Yamao, Masako Daifu, Jumpei Togawa, Kazumichi Yoshida, Takeharu Kunieda, Kobayashi K, Akio Ikeda, Susumu Miyamoto	4. 巻 23
2. 論文標題 Effects of a stable concentration of propofol upon interictal high-frequency oscillations in drug-resistant epilepsy	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Epileptic Disord	6. 最初と最後の頁 299-312
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1684/epd.2021.1264	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Takeshi Inoue, Katsuya Kobayashi, Riki Matsumoto, Morito Inouchi, Masaya Togo, Jumpei Togawa, Kiyohide Usami, Akihiro Shimotake, Masao Matsuhashi, Takayuki Kikuchi, Kazumichi Yoshida, Hisashi Kawawaki, Nobukatsu Sawamoto, Takeharu Kunieda, Susumu Miyamoto, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda	4. 巻 131
2. 論文標題 Engagement of cortico-cortical and cortico-subcortical networks in a patient with epileptic spasms: An integrated neurophysiological study	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Clinical Neurophysiology	6. 最初と最後の頁 2255-2264
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clinph.2020.04.167	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Mitsuyoshi Nakatani, Riki Matsumoto, Katsuya Kobayashi, Takefumi Hitomi, Morito Inouchi, Masao Matsuhashi, Masako Kinoshita, Takayuki Kikuchi, Kazumichi Yoshida, Takeharu Kunieda, Susumu Miyamoto, Ryosuke Takahashi, Nobutaka Hattori, Akio Ikeda	4. 巻 131
2. 論文標題 Electrical Cortical Stimulations Modulate Spike and Post-Spike Slow-Related High-Frequency Activities in Human Epileptic Foci	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Clinical Neurophysiology	6. 最初と最後の頁 1741-1754
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clinph.2020.03.042	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takuro Nakae, Riki Matsumoto, Takeharu Kunieda, Yoshiki Arakawa, Katsuya Kobayashi, Akihiro Shimotake, Yukihiro Yamao, Takayuki Kikuchi, Toshihiko Aso, Masao Matsuhashi, Kazumichi Yoshida, Akio Ikeda, Ryosuke Takahashi, Matthew A Lambon Ralph, Susumu Miyamoto	4. 巻 30
2. 論文標題 Connectivity Gradient in the Human Left Inferior Frontal Gyrus: Intraoperative Cortico-Cortical Evoked Potential Study	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Cerebral Cortex	6. 最初と最後の頁 4633-4650
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/cercor/bhaa065	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Jong-Hyeon Seo, Ichiro Tsuda, Young Ju Lee, Akio Ikeda, Masao Matsuhashi, Riki Matsumoto, Takayuki Kikuchi, Hunseok Kang	4. 巻 8
2. 論文標題 Pattern Recognition in Epileptic EEG Signals via Dynamic Mode Decomposition	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Mathematics	6. 最初と最後の頁 481
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/math8040481	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Shogo Yazawa, Kazuhito Tsuruta, Akiko Sugimoto, Yukiko Suzuki, Kazuhiro Yagi, Masao Matsuhashi, Michiyoshi Yoshimura, Hiroshi Takashima	4. 巻 204
2. 論文標題 Appearance of bitemporal periodic EEG activity in the last stage of Gerstmann-Straussler-Scheinker syndrome (Pro102Leu): A case report	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Clinical Neurophysiology	6. 最初と最後の頁 106602
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clineuro.2021.106602	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sarah Pirio Richardson, Antonio I Triggiani, Masao Matsuhashi, Valerie Voon, Elizabeth Peckham, Fatta Nahab, Zoltan Mari, Mark Hallett	4. 巻 14
2. 論文標題 Timing of the Sense of Volition in Patients With Schizophrenia	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Frontiers in Neuroscience	6. 最初と最後の頁 574472
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnins.2020.574472	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Akinori Miyakoshi, Takeshi Funaki, Yasutaka Fushimi, Takuro Nakae, Masakazu Okawa, Takayuki Kikuchi, Hiroharu Kataoka, Kazumichi Yoshida, Yohei Mineharu, Masao Matsuhashi, Eiji Nakatani, Susumu Miyamoto	4. 巻 41
2. 論文標題 Cortical Distribution of Fragile Periventricular Anastomatic Collateral Vessels in Moyamoya Disease: An Exploratory Cross-Sectional Study of Japanese Patients with Moyamoya Disease	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 AJNR Am J Neuroradiol	6. 最初と最後の頁 2243-2249
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3174/ajnr.A6861	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hiroki Tsuchiya, Fumika Endoh, Tomoyuki Akiyama, Masao Matsuhashi, Katsuhiro Kobayashi	4. 巻 42
2. 論文標題 Longitudinal correspondence of epilepsy and scalp EEG fast (40-200 Hz) oscillations in pediatric patients with tuberous sclerosis complex	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Brain Dev	6. 最初と最後の頁 663-674
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.braindev.2020.06.001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Satoko Koganemaru, Yusuke Mikami, Masao Matsuhashi, Dennis Q Truong, Marom Bikson, Kenji Kansaku, Tatsuya Mima	4. 巻 156
2. 論文標題 Cerebellar transcranial alternating current stimulation modulates human gait rhythm	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Neuroscience research	6. 最初と最後の頁 265-270
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neures.2019.12.003	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Ryosuke Kitatani, Satoko Koganemaru, Ayaka Maeda, Yusuke Mikami, Masao Matsuhashi, Tatsuya Mima, Shigehito Yamada	4. 巻 156
2. 論文標題 Gait-synchronized oscillatory brain stimulation modulates common neural drives to ankle muscles in patients after stroke: A pilot study	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Neuroscience research	6. 最初と最後の頁 256-264
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neures.2019.11.001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Akio Ikeda, Hirofumi Takeyama, Christophe Bernard, Mitsuyoshi Nakatani, Akihiro Shimotake, Masako Daifu, Masao Matsuhashi, Takayuki Kikuchi, Takeharu Kunieda, Riki Matsumoto, Tamaki Kobayashi, Kazuaki Sato	4. 巻 156
2. 論文標題 Active direct current (DC) shifts and "Red slow": two new concepts for seizure mechanisms and identification of the epileptogenic zone	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Neuroscience research	6. 最初と最後の頁 95-101
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neures.2020.01.014	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Takao Namiki, Ichiro Tsuda, Satoru Tadokoro, Shunsuke Kajikawa, Takeharu Kunieda, Riki Matsumoto, Masao Matsuhashi, Akio Ikeda	4. 巻 156
2. 論文標題 Mathematical structures for epilepsy: High-frequency oscillation and interictal epileptic slow (red slow)	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Neuroscience research	6. 最初と最後の頁 178-187
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neures.2019.11.008	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kentou Hirayama, Takayuki Koga, Toru Takahashi, Rieko Osu	4. 巻 11
2. 論文標題 Transcranial direct current stimulation of the posterior parietal cortex biases human hand choice.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 204
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-80611-8	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 小金丸 聡子, 神作 憲二, 美馬 達哉	4. 巻 72
2. 論文標題 ヒトの発振操作による動的ネットワークの制御と臨床応用	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Brain Nerve.	6. 最初と最後の頁 1223-1237
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11477/mf.1416201674.	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小金丸 聡子	4. 巻 57
2. 論文標題 脳卒中後上肢機能障害における非侵襲的中枢神経刺激療法 (rTMS, tDCS) の効果と至適刺激条件 近年のメタ解析より	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine	6. 最初と最後の頁 792-798
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2490/jjrmc.57.792	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Koganemaru, S., & Mima, T.	4. 巻 51
2. 論文標題 Response by Koganemaru and Mima to Letter Regarding Article, Gait-Synchronized Rhythmic Brain Stimulation Improves Poststroke Gait Disturbance: A Pilot Study.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Stroke	6. 最初と最後の頁 e27
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1161/STROKEAHA.119.028023	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yamashiro K, Sato D, Onishi H, Sugawara K, Otsuru N, Kirimoto H, Nakazawa S, Yamazaki Y, Shirozu H, Maruyama A	4. 巻 32(3)
2. 論文標題 Change-Driven M100 Component in the Bilateral Secondary Somatosensory Cortex: A Magnetoencephalographic Study	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Brain Topogr	6. 最初と最後の頁 435-444
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10548-018-0687-y	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tamaki H, Yotani K, Ogita F, Hayao K, Kirimoto H, Onishi H, Kasuga N, Yamamoto N	4. 巻 16(6)
2. 論文標題 Low-Frequency Electrical Stimulation of Denervated Skeletal Muscle Retards Muscle and Trabecular Bone Loss in Aged Rats	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 International Journal of Medical Sciences	6. 最初と最後の頁 822-830
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.7150/ijms.32590.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nojima I, Watanabe T, Gyoda T, Sugata T, Ikeda T, Mima T.	4. 巻 696
2. 論文標題 Transcranial static magnetic stimulation over the primary motor cortex alters sequential implicit motor learning	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Neurosci Letters	6. 最初と最後の頁 33-37
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neulet.2018.12.010	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Watanabe T, Nojima I, Sugiura H, Yacoubi B, Christou EA.	4. 巻 68
2. 論文標題 Voluntary control of forward leaning posture relates to low-frequency neural inputs to the medial gastrocnemius muscle	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Gait Posture	6. 最初と最後の頁 187-192
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.gaitpost.2018.11.026	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Noguchi T, Nojima I, Inoue-Hirakawa T, Sugiura H	4. 巻 16
2. 論文標題 The association between social support sources and cognitive function among community-dwelling older adults: a one-year prospective study	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 International Journal of Environmental Research and Public Health	6. 最初と最後の頁 4228
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijerph16214228	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Horiba M, Ueki Y, Nojima I, Shimizu Y, Sahashi K, Itamoto S, Suzuki A, Yamada G, Matsukawa N, Wada I	4. 巻 13
2. 論文標題 Impaired motor skill acquisition using mirror visual feedback improved by transcranial direct current stimulation (tDCS) in patients with parkinson's disease	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Front Neurosci	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnins.2019.00602	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sakimoto Y, Mizuno J, Kida H, Kamiya Y, Ono Y, Mitsushima D	4. 巻 29
2. 論文標題 Learning promotes subfield-specific synaptic diversity in hippocampal CA1 neurons	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Cerebral Cortex	6. 最初と最後の頁 2183-2195
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/cercor/bhz022	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 N Ozana, JA Noah, X Zhang, Y Ono, J Hirsch, Z Zalevsky	4. 巻 e201900201
2. 論文標題 Remote photonic sensing of cerebral hemodynamic changes via temporal spatial analysis of acoustic vibrations	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Biophotonics	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/jbio.201900201	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Watanabe M, Zhang J, Mansuri MS, Duan J, Karimy JK, Delpire E, Alper SL, Lifton RP, Fukuda A, Kahle KT.	4. 巻 12
2. 論文標題 Developmentally regulated KCC2 phosphorylation is essential for dynamic GABA-mediated inhibition and survival.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Science Signaling	6. 最初と最後の頁 eaaw9315
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1126/scisignal.aaw9315	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Ishibashi M, Egawa K, Fukuda A.	4. 巻 20
2. 論文標題 Diverse Actions of Astrocytes in GABAergic Signaling.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 International Journal of Molecular Sciences	6. 最初と最後の頁 2964
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijms20122964	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Fukuda A.	4. 巻 156
2. 論文標題 Chloride homeodynamics underlying modal shifts in cellular and network oscillations.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Neuroscience Research	6. 最初と最後の頁 14-23
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neures.2020.02.010	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Murakami T, Abe D, Matsumoto H, Tokimura R, Abe M, Tiksnadi A, Kobayashi S, Kaneko C, Urata Y, Nakamura M, Sano A, Ugawa Y	4. 巻 19
2. 論文標題 A patient with McLeod syndrome showing involvement of the central sensorimotor tracts for the legs.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 BMC neurology	6. 最初と最後の頁 301
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12883-019-1526-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Murakami T, Nakatani-Enomoto S, Enomoto H, Takahashi Y, Ugawa Y	4. 巻 58
2. 論文標題 A Unique Shape of Brainstem Lesion that Caused Orthostatic Hypotension in Anti-NMDAR Encephalitis.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Internal medicine	6. 最初と最後の頁 2861-2864
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2169/internalmedicine.2805-19	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Terao Y, Tokushige SI, Inomata-Terada S, Fukuda H, Yugeta A, Ugawa Y	4. 巻 130
2. 論文標題 Differentiating early Parkinson's disease and multiple system atrophy with parkinsonism by saccade velocity profiles.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Clinical neurophysiology : official journal of the International Federation of Clinical Neurophysiology	6. 最初と最後の頁 2203-2215
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clinph.2019.09.004	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Shirota Y, Ohminami S, Tsutsumi R, Terao Y, Ugawa Y, Tsuji S, Hanajima R	4. 巻 66
2. 論文標題 Increased facilitation of the primary motor cortex in de novo Parkinson's disease.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Parkinsonism & related disorders	6. 最初と最後の頁 125-129
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.parkreldis.2019.07.022	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Rossini P.M., Di Iorio R., Bentivoglio M., Bertini G., Ferreri F., Gerloff C., Ilmoniemi R.J., Miraglia F., Nitsche M.A., Pestilli F., Rosanova M., Shirota Y., Tesoriero C., Ugawa Y., Vecchio F., Ziemann U., Hallett M.	4. 巻 130
2. 論文標題 Methods for analysis of brain connectivity: An IFCN-sponsored review	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Clinical Neurophysiology	6. 最初と最後の頁 1833-1858
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clinph.2019.06.006	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Tamura K, Osada T, Ogawa A, Tanaka M, Suda A, Shimo Y, Hattori N, Kamagata K, Hori M, Aoki S, Shimizu T, Enomoto H, Hanajima R, Ugawa Y, Konishi S	4. 巻 14
2. 論文標題 MRI-based visualization of rTMS-induced cortical plasticity in the primary motor cortex.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 PloS one	6. 最初と最後の頁 e0224175
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0224175	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nakatani-Enomoto S, Yamazaki M, Kamimura Y, Abe M, Asano K, Enomoto H, Wake K, Watanabe S, Ugawa Y	4. 巻 40
2. 論文標題 Frequency-dependent current perception threshold in healthy Japanese adults.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Bioelectromagnetics	6. 最初と最後の頁 150-159
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/bem.22175	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shimizu T, Hanajima R, Shirota Y, Tsutsumi R, Tanaka N, Terao Y, Hamada M, Ugawa Y	4. 巻 13
2. 論文標題 Plasticity induction in the pre-supplementary motor area (pre-SMA) and SMA-proper differentially affects visuomotor sequence learning.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Brain stimulation	6. 最初と最後の頁 229-238
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.brs.2019.08.001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Urata Y, Nakamura M, Sasaki N, Shiokawa N, Nishida Y, Arai K, Hiwatashi H, Yokoyama I, Narumi S, Terayama Y, Murakami T, Ugawa Y, Sakamoto H, Kaneko S, Nakazawa Y, Yamasaki R, Sadashima S, Sakai T, Arai H, Sano A	4. 巻 5
2. 論文標題 Novel pathogenic XK mutations in McLeod syndrome and interaction between XK protein and chorein.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Neurology. Genetics	6. 最初と最後の頁 e328
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1212/NXG.0000000000000328	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yokota T, Maki T, Nagata T, Murakami T, Ugawa Y, Laakso I, Hirata A, Hontani H	4. 巻 12
2. 論文標題 Real-time estimation of electric fields induced by transcranial magnetic stimulation with deep neural networks.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Brain stimulation	6. 最初と最後の頁 1500-1507
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.brs.2019.06.015	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kiyohide Usami, Anna Korzeniewska, Riki Matsumoto, Katsuya Kobayashi, Takefumi Hitomi, Masao Matsuhashi, Takeharu Kunieda, Nobuhiro Mikuni, Takayuki Kikuchi, Kazumichi Yoshida, Susumu Miyamoto, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda, Nathan E. Crone	4. 巻 42
2. 論文標題 The neural tides of sleep and consciousness revealed by single-pulse electrical brain stimulation	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Sleep	6. 最初と最後の頁 1-9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/sleep/zsz050	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Shuichiro Neshige, Katsuya Kobayashi, Masao Matsuhashi, Takefumi Hitomi, Akihiro Shimotake, Takayuki Kikuchi, Kazumichi Yoshida, Takeharu Kunieda, Riki Matsumoto, Susumu Miyamoto, Ryosuke Takahashi, Hirofumi Maruyama, Akio Ikeda	4. 巻 60
2. 論文標題 A rational, multispectral mapping algorithm for primary motorcortex: A primary step before cortical stimulation	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Epilepsia	6. 最初と最後の頁 547-559
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/epi.14669	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Takeshi Inoue, Morito Inouchi, Masao Matsuhashi, Riki Matsumoto, Takefumi Hitomi, Masako Daifu-Kobayashi, Katsuya Kobayashi, Mitsuyoshi Nakatani, Kyoko Kanazawa, Akihiro Shimotake, Takayuki Kikuchi, Kazumichi Yoshida, Takeharu Kunieda, Susumu Miyamoto, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda	4. 巻 36
2. 論文標題 Interictal Slow and High-Frequency Oscillations: Is it an Epileptic Slow or Red Slow?	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Clinical Neurophysiology	6. 最初と最後の頁 166-170
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/WNP.0000000000000527	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Oi K, Neshige S, Hitomi T, Kobayashi K, Tojima M, Matsuhashi M, Shimotake A, Fujii D, Matsumoto R, Kasama S, Kanda M, Wada Y, Maruyama H, Takahashi R, Ikeda A	4. 巻 130
2. 論文標題 Low-dose perampanel improves refractory cortical myoclonus by the dispersed and suppressed paroxysmal depolarization shifts in the sensorimotor cortex	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Clinical Neurophysiology	6. 最初と最後の頁 1804-1812
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clinph.2019.07.006	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Horiba Mitsuya, Ueki Yoshino, Nojima Ippei, Shimizu Yoko, Sahashi Kento, Itamoto Shogo, Suzuki Ayuko, Yamada Gohei, Matsukawa Noriyuki, Wada Ikuo	4. 巻 13
2. 論文標題 Impaired Motor Skill Acquisition Using Mirror Visual Feedback Improved by Transcranial Direct Current Stimulation (tDCS) in Patients With Parkinson's Disease	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Frontiers in Neuroscience	6. 最初と最後の頁 602
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnins.2019.00602. eCollection 2019.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Uchida Y, Kan H, Sakurai K, Arai N, Kato D, Kawashima S, Ueki Y, Matsukawa N.	4. 巻 34(8)
2. 論文標題 Voxel-based quantitative susceptibility mapping in Parkinson's disease with mild cognitive impairment.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Movement Disorders	6. 最初と最後の頁 1164-1173
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/mds.27717	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計240件 (うち招待講演 68件 / うち国際学会 58件)

1. 発表者名 Erika Omae, Atsushi Shima, Kazuki Tanaka, Akari Ogawa, Masako Yamada, Cao Yedi, Mima Tatsuya, Tadashi Isa, Satoko Koganemaru.
2. 発表標題 A novel approach using neurofeedback learning to enhance cerebellar brain inhibition in spinocerebellar degeneration patients.
3. 学会等名 Neuroscience2023 (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名	Erika Omae, Atsushi Shima, Kazuki Tanaka, Akari Ogawa, Masako Yamada, Tadashi Isa, Satoko Koganemaru.
2. 発表標題	Neurofeedback Learning of Cerebellar Brain Inhibition in Patients with Spinocerebellar Degeneration -A proof of concept study- 脊髄小脳変性症患者における小脳抑制(CBI)ニューロフィードバック学習の試み
3. 学会等名	日本生理学会第100回記念大会
4. 発表年	2023年

1. 発表者名	Satoko Koganemaru, Kazuki Tanaka, Atsushi Shima, Erika Omae, Masako Yamada, Cao Yedi, Akari Ogawa.
2. 発表標題	The effects of the paired associative premotor-cerebellar stimulation on the non-targeted cerebellar function in healthy subjects. 小脳性連合性対刺激法における非対象側小脳半球機能の変化.
3. 学会等名	日本生理学会第100回記念大会
4. 発表年	2023年

1. 発表者名	大前 恵利夏, 島 淳, 田中 和樹, 山田 真子, 曹 葉迪, 中村 智之, 星合 宗, 千葉 友美, 入澤 寛, 美津島 隆, 伊佐 正, 小金丸 聡子.
2. 発表標題	経頭蓋律動電流電気刺激(tACS)を用いた脳卒中後失語症症例における言語機能の改善
3. 学会等名	第60回日本リハビリテーション医学会春季学術集会
4. 発表年	2023年

1. 発表者名	小金丸聡子
2. 発表標題	脳活動にアプローチする嚙下障害治療 シンポジウム7「新しい訓練手技」
3. 学会等名	第46回日本嚙下医学会学術講演会(招待講演)
4. 発表年	2023年

1. 発表者名 平川佳菜、小金丸聡子、岩永健、島淳、曹叶迪、大前恵利夏、山田真子、田中和樹、美馬達哉、末廣篤、大森孝一
2. 発表標題 N-of-1 試験による難治性嚔下障害に対する経頭蓋的直流電気刺激(tDCS)効果の検討
3. 学会等名 第47回日本嚔下医学会学術講演会
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 小金丸聡子
2. 発表標題 Facilitation of hyper-recovery from severe brain damages. Symposium: New horizon of Hyper-Adaptability
3. 学会等名 第46回日本神経科学会(招待講演)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 小金丸聡子
2. 発表標題 歩行同期型脳刺激を併用したロボット歩行トレーニングの紹介. シンポジウム「脳梗塞当事者が伝える《生活期でも機能向上する秘訣》とは -経頭蓋電気刺激療法、ボツリヌス療法、訪問リハビリを経験して-」、京都、2023. 10.17
3. 学会等名 第5回日本スティミュレーションセラピー学会学術大会(招待講演)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 小金丸聡子
2. 発表標題 小脳障害に対する非侵襲的脳刺激.
3. 学会等名 第13回日本小脳学会学術集会(招待講演)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 小金丸聡子
2. 発表標題 神経ネットワーク可塑性とリハビリテーション治療. 生涯教育研修会
3. 学会等名 第53回日本リハビリテーション医学会中部・東海地方会（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 小金丸聡子
2. 発表標題 「Neuroscience of functional recovery after brain damage and its clinical application脳損傷後機能回復の神経科学と臨床実践」
3. 学会等名 日本生理学会第100回記念大会（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 小金丸聡子
2. 発表標題 経頭蓋律動電流電気刺激による歩行機能の改善
3. 学会等名 第9回歩行リハビリテーション研究会（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Sumiya Shibata, Hirotaka Takahashi, Yu Miida, Tatsuya Mima, Hideaki Onishi
2. 発表標題 Priming effects of transcutaneous vagus nerve stimulation on the inhibitory effects of transcranial static magnetic field stimulation on the human primary motor cortex
3. 学会等名 第46回日本神経科学大会（国際学会）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 芝田純也
2. 発表標題 症例研究の質を高める ~N-of-1 研究~
3. 学会等名 第21回日本神経理学療法学会学術大会（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 芝田純也
2. 発表標題 tSMSの作用機序と安全性および深部刺激への挑戦
3. 学会等名 第53回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 小川紗也香, 小野弓絵
2. 発表標題 脳卒中ニューロリハビリテーションの高効率な運動訓練法の検討
3. 学会等名 第62回日本生体医工学会大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 小川紗也香, 寺田萌, 藤原瑤平, 小野弓絵
2. 発表標題 適応的な運動想起指示による脳卒中患者の運動関連脳活動評価法の改善
3. 学会等名 生体医工学シンポジウム2023
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 杉山海理, 小野弓絵
2. 発表標題 VR運動訓練中の多感覚フィードバックが運動関連脳活動に与える影響の検討
3. 学会等名 生体医工学シンポジウム2023
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 小野弓絵
2. 発表標題 EEG-fNIRSによるFlow感情価の時系列推定
3. 学会等名 日本心理学会第87回大会 (招待講演)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 小野弓絵
2. 発表標題 複数のてんかんバイオマーカーを統合した手術支援システムの開発
3. 学会等名 第56回日本てんかん学会学術集会 (招待講演)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 D Sawamura, H Miura, T Suzuki, Y Ogihara, Y Imai, A Watanabe, Y Tokikuni, S Sakuraba, Y Ono
2. 発表標題 Brain Activities and Neural Networks in Cognitive-motor Dual-task Interference: A Near-infrared Spectroscopy Study
3. 学会等名 第15回日本ニューロリハビリテーション学会学術集会 (国際学会)
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 野鳶一平
2. 発表標題 臨床での動作解析に向けたOpenPoseベースのシステム開発とその信頼性評価
3. 学会等名 第28回日本基礎理学療法学会学術大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 野鳶一平
2. 発表標題 神経筋ネットワーク解析に基づく新しい運動介入への挑戦
3. 学会等名 第52回長野県理学療法学会学術大会（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 井ノ上 真白, 野池 貫志, 松井 佑介, 宇野 光平, 野鳶 一平
2. 発表標題 歩行の神経筋制御評価と介入
3. 学会等名 第11回日本運動器理学療法学会学術大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 井ノ上 真白, 野池 貫志, 松井 佑介, 宇野 光平, 野鳶 一平
2. 発表標題 地域で活用できる姿勢推定ライブラリを基盤とした動作解析システムの開発
3. 学会等名 第10回日本予防理学療法学会学術大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 山中 英士, 後藤 凌介, 川上 途行, 立石 貴樹, 近藤 国嗣, 野鷲 一平
2. 発表標題 亜急性期脳卒中患者の静止立位における下肢筋間コヒーレンスの縦断的变化
3. 学会等名 第21回日本神経理学療法学会学術集会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 山中 英士, 後藤 凌介, 川上 途行, 立石 貴樹, 近藤 国嗣, 野鷲 一平
2. 発表標題 亜急性期脳卒中患者の静止立位における左右脚COP同調性の縦断的变化-dual force platesを用いた検討-
3. 学会等名 第28回日本基礎理学療法学会学術大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 山中 英士, 佐藤 孝嗣, 奥山 航平, 井上 靖悟, 辻川 将弘, 野鷲 一平
2. 発表標題 単一および複数セッションの前脛骨筋機能的電気刺激介入に伴う歩行時皮質脊髄活動の変化: 症例報告
3. 学会等名 第2回日本物理療法合同学術大会
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 Watanabe T, Chen X, Yunoki K, Matsumoto T, Horinouchi T, Ito K, Ishida H, Kirimoto H
2. 発表標題 The effects of transcranial static magnetic field stimulation over the dorsolateral prefrontal cortex on working memory performance and brain oscillatory activity
3. 学会等名 World Physiotherapy Congress 2023 (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Horinouchi T, Matsumoto T, Watanabe T, Sunagawa T, Shibata S, Mima T, Kirimoto H
2. 発表標題 The effects of unilateral and bilateral transcranial static magnetic field stimulation over the premotor cortex on simple and choice reaction times
3. 学会等名 5th International Brain Stimulation Conference (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Horinouchi T, Watanabe T, Kirimoto H
2. 発表標題 Brain Oscillations Related to Prolonged Reaction Times in Go/No-go Tasks with Different Meanings of Stimulus Color
3. 学会等名 Neuroscience (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 桐本 光
2. 発表標題 シンポジウム 電気生理学的手法の作業療法学への展開と未来「非侵襲的脳刺激のないリハビリテーションなんて」
3. 学会等名 第25回日本薬物脳波学会学術集会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 桐本 光
2. 発表標題 教育講演「学術誌に受理される論文の書き方」, 「Introductionの重要性」
3. 学会等名 第17回日本作業療法研究学会学術大会(招待講演)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 桐本 光
2. 発表標題 シンポジウム 静磁場刺激クロニクル「健常者を対象としたtSMSの応用研究」
3. 学会等名 第53回日本臨床神経生理学会学術大会（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 桐本 光
2. 発表標題 シンポジウム 作業療法と臨床神経生理学「当たり前のように非侵襲的脳刺激が作業療法リハビリのお供になる日まで」
3. 学会等名 第53回日本臨床神経生理学会学術大会（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 堀之内峻之，石田晴輝，渡邊龍憲，桐本光
2. 発表標題 交通ルールとストローク状態の視覚刺激に対する歩行開始動作の反応時間と予測性姿勢調節
3. 学会等名 第17回日本作業療法研究学会（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 桐本光，堀之内峻之，祢津智久
2. 発表標題 耳介からの非侵襲的迷走神経刺激によるコリン作動性神経回路の活性化
3. 学会等名 第17回日本作業療法研究学会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 堀之内 峻之, 渡邊 龍憲, 桐本光
2. 発表標題 視覚刺激色の文脈に依存したGo/No-go課題の反応時間と前頭葉の事象関連同期/ 脱同期
3. 学会等名 第28回日本基礎理学療法学会学術大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 桐本光, 堀之内峻之, 祢津智久
2. 発表標題 間歇的及び持続的な経耳介迷走神経刺激が短潜時求心性抑制に及ぼす影響
3. 学会等名 第17回Motor Control研究会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 堀之内 峻之, 渡邊 龍憲, 石田 晴輝, 桐本光
2. 発表標題 視覚刺激色の先行知識が歩行開始の反応時間と予測性姿勢調節に及ぼす影響
3. 学会等名 第17回Motor Control研究会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 堀之内 峻之, 渡邊 龍憲, 桐本光
2. 発表標題 先行知識に反するGo/No-go課題の反応時間の遅延と前頭葉の脳律動
3. 学会等名 第2回広島大学脳神経科学セミナー
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 堀之内 峻之, 渡邊 龍憲, 石田 晴輝, 桐本光
2. 発表標題 視覚刺激色の先行知識がGo/No-go課題の予測姿勢調節機能と反応時間に及ぼす影響
3. 学会等名 第53回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 桐本光, 堀之内峻之, 祢津智久
2. 発表標題 間歇的及び持続的な経耳介迷走神経刺激がコリン作動性神経回路に及ぼす影響
3. 学会等名 第53回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 桐本光, 堀之内峻之, 祢津智久
2. 発表標題 経耳介迷走神経刺激による短潜時求心性抑制の増強
3. 学会等名 第28回日本基礎理学療法学会学術大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 石坂陸, 中村水優, 桐本光, 松本卓也, 堀之内峻之, 渡邊 龍憲
2. 発表標題 経頭蓋静磁場刺激が脳の興奮性に及ぼす影響: 一次運動野の下肢領域に対する検証
3. 学会等名 第28回日本基礎理学療法学会学術大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 渡邊龍憲, 桑原貴之, 松本卓也, 堀之内峻之, 桐本光
2. 発表標題 視覚運動制御における腹側運動前野による一次運動野の調整機構
3. 学会等名 第28回日本基礎理学療法学会学術大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Ugawa Y
2. 発表標題 Pathophysiology of Tics Focusing on facial tics.
3. 学会等名 10th Jakarta Neurology Exhibition Workshop Symposium (JAKNEWS). (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Ugawa Y
2. 発表標題 Pathophysiology of Tics Focusing on facial tics.
3. 学会等名 11th Jakarta Neurology Exhibition Workshop Symposium (JAKNEWS). (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Ugawa Y
2. 発表標題 Central and peripheral motorconduction studies by single pulse TMS.
3. 学会等名 The 15th biennial convention of the Asean Neurological Association 2023 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Ugawa Y
2. 発表標題 Single pulse TMS: MEP recording
3. 学会等名 Tokyo Super EGM Hands-on course 2023 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Ugawa Y
2. 発表標題 Quaripluse stimulation.
3. 学会等名 1st Expert Workshop - Controversies in Brain Stimulation: Targetting Variability in Transcranial Stimualtion Research (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Ugawa Y
2. 発表標題 BASIC KNOWLEDGE OF NERVE ULTRASONOGRAPHY.
3. 学会等名 26th World Congress of Neurology (WCN2023). (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Ugawa Y
2. 発表標題 USG hereditary and inflammatory neuropathies.
3. 学会等名 11th Congeress of the Latin America Chapter of the IFCN (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Ugawa Y
2. 発表標題 Pathophysiology of myoclonus
3. 学会等名 12th Congress of the Latin America Chapter of the IFCN (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Ugawa Y
2. 発表標題 Neurophysiological Examination of Movement Disorders. Parkinson diseases and Dystonia.
3. 学会等名 13th Congress of the Latin America Chapter of the IFCN (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 清水陽子、堀場充哉、佐橋健斗、谷川元紀、山田茂樹、川嶋将司、神鳥明彦、松川則之、植木美乃、間瀬光人
2. 発表標題 特発性正常圧水頭症疑い患者のタップテスト前後における定量的指タッピング評価
3. 学会等名 第24回日本正常圧水頭症学会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 小林絢水、植木美乃、村上里奈
2. 発表標題 地域医療病院における高齢者の安全な経口摂取推進の取り組み
3. 学会等名 第52回日本リハビリテーション医学会 中部東海地方会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 佐藤豊大、谷口葉子、藤岡哲平、川嶋将司、大喜多賢治、植木美乃、久保田英嗣、松川則之
2. 発表標題 パーキンソン病のL ドバ持続経腸療法(LCIG)導入症例における治療薬の使用状況
3. 学会等名 第64回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 仙頭佳起、中村知寿、安藤翔悟、野木村茜、中西俊之、植木美乃、道川誠、祖父江和哉
2. 発表標題 術前の血清フロチリンレベルと術後の神経認知障害の関連性検索：前向き観察研究
3. 学会等名 第27回日本神経麻酔集中治療学会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 小林絢水、可知裕章、八木 了、小林 尚史、村上 里奈、植木美乃
2. 発表標題 当院における自動車運転再開支援の結果とその後の運転再開状況について
3. 学会等名 第60回日本リハビリテーション医学会学術集会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 中馬孝容、小林庸子、植木美乃、加世田ゆみ子、小森哲夫
2. 発表標題 難病患者の地域リハビリテーション医療の課題について
3. 学会等名 第60回日本リハビリテーション医学会学術集会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 勝野由大、辰巳 寛、佐藤堯俊、高橋摩耶、諸藤久和、植木 美乃
2. 発表標題 失語症訓練支援アプリケーション(KOTOREHA)による短期集中療法が及ぼす臨床効果
3. 学会等名 第47回日本高次脳機能障害学会学術集会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 松原弘記、黒柳 元、井田壘童、村上里奈、岡本秀貴、植木美乃
2. 発表標題 Microsoft社製Kinect v2を用いた歩行解析による大腿骨近位部骨折術後の歩容評価と歩行予後予測指標の検討
3. 学会等名 第7回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 生田旭洋、石黒正樹、岡元信弥、若泉賢也、石田和人、植木美乃、稲垣亜紀
2. 発表標題 高頻度反復性経頭蓋磁気刺激（rTMS）と集中的理学療法における歩行能力向上と体幹機能の関連について
3. 学会等名 第7回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 植木美乃
2. 発表標題 神経疾患におけるニューロリハビリテーション
3. 学会等名 第47回静岡リハビリテーション医学会（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 植木美乃
2. 発表標題 神経疾患の新規歩行リハビリテーション治療
3. 学会等名 第7回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 植木美乃
2. 発表標題 脳疾患におけるリハビリテーションと性差
3. 学会等名 第15回日本ニューロリハビリテーション学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Ueki Y
2. 発表標題 Gait-combined closed-loop brain stimulation can improve walking dynamics in Parkinson's disease
3. 学会等名 The 64th Annual Meeting of the Japanese Society of Neurology（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 大須理英子
2. 発表標題 Neuroscience in Social Applications
3. 学会等名 The 53rd NIPS International Symposium（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 大須理英子, 大隈玲志, 富田望, 熊野宏昭
2. 発表標題 脳科学・心理学は「こまりごと」の解決を 支援しうるか?
3. 学会等名 電子情報通信学会総合大会 (招待講演)
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 北城圭一
2. 発表標題 Exploring the role of transient synchrony in human brain and body networks: Innovative manipulative techniques
3. 学会等名 The 53rd NIPS International Symposium "Neural Dynamics and Information Processing in the Brain and Body (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 小金丸 聡子, 武村 優, 入澤 寛, 美馬 達哉, 美津島 隆, 神作 憲司
2. 発表標題 嚙下観察による脳活動変化 - 健常人における検討
3. 学会等名 第5回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 美馬 達哉
2. 発表標題 Closed-loop方式での非侵襲的脳刺激法による歩行再建とその生理機構
3. 学会等名 第51回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 芝田 純也, 渡邊 龍憲, 湯川 喜裕, 水口 雅俊, 下村 亮太, 市村 幸盛, 桐本 光, 美馬 達哉
2. 発表標題 経頭蓋静磁場刺激による脳波への影響: tSMS-EEG計測によるネットワーク分析
3. 学会等名 第51回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 桐本 光
2. 発表標題 シンポジウム「脳疾患の作業療法と臨床神経生理」
3. 学会等名 第51回日本臨床神経生理学会学術大会(招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 桐本 光
2. 発表標題 企画セミナー「神経生理学者がイタミに寄り添う時」
3. 学会等名 第55回日本作業療法学会(招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 桐本 光
2. 発表標題 シンポジウム 07 「脳科学のリハビリテーションへの応用」静磁場暴露による脳機能の可塑的变化の誘導
3. 学会等名 第23回日本薬物脳波学会・第37回日本脳電磁図トポグラフィ研究会(招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 堀之内 峻之, 宇野 七海, 伊藤 佳奈実, 松本 卓也, 柚木 啓輔, 陳 瀟瀟, 桑原 貴之, 石田 晴輝, 渡邊 龍憲, 桐本光
2. 発表標題 楽器演奏経験がrepeated bout rate enhancementへ与える影響
3. 学会等名 第51回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 伊藤 佳奈実, 松本 卓也, 柚木 啓輔, 陳 瀟瀟, 桑原 貴之, 石田 晴輝, 堀之内 峻之, 渡邊 龍憲, 桐本光
2. 発表標題 ピアノ演奏者のタッピングの同期安定性は視聴覚複合刺激で向上する
3. 学会等名 第51回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 松本 卓也, 伊藤 佳奈実, 石田晴輝, 堀之内 峻之, 桑原 貴之, 柚木 啓輔, 陳 瀟瀟, 渡邊 龍憲, 桐本 光
2. 発表標題 運動前野に対する経頭蓋静磁場刺激の効果 視覚反応課題を用いたpilot study
3. 学会等名 第15回日本作業療法研究学会学術大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 柚木 啓輔, 松本 卓也, 桑原 貴之, 堀之内 峻之, 石田 晴輝, 伊藤 佳奈実, 渡邊 龍憲, 桐本 光
2. 発表標題 静的筋収縮時の運動負荷形式の違いが皮膚感覚情報の処理過程に及ぼす影響 不動の物体を押すか, 錘を牽引するか
3. 学会等名 第15回日本作業療法研究学会学術大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 伊藤 佳奈実, 松本 卓也, 柚木 啓輔, 陳 瀟瀟, 桑原 貴之, 石田 晴輝, 堀之内 峻之, 渡邊 龍憲, 桐本光
2. 発表標題 ピアノ演奏者の外的ペースタッピングにおける同期安定性は音楽学習環境に近似した刺激提示で顕在化する
3. 学会等名 第15回日本作業療法研究学会学術大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 松本 卓也, 桑原 貴之, 柚木 啓輔, 渡邊 龍憲, 桐本 光
2. 発表標題 ピアノ演奏経験の有無が外的ペースタッピング課題時の同期の正確性および運動制御様式に与える影響
3. 学会等名 第55回日本作業療法学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 伊藤 佳奈実, 松本 卓也, 柚木 啓輔, 陳 瀟瀟, 桑原 貴之, 石田 晴輝, 堀之内 峻之, 渡邊 龍憲, 桐本 光
2. 発表標題 ピアノ演奏経験者が行う外的ペースタッピングの同期安定性は視聴覚複合刺激で顕在化する
3. 学会等名 第15回Motor control研究会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 柚木 啓輔, 松本 卓也, 桑原 貴之, 陳 瀟瀟, 石田 晴輝, 伊藤 佳奈実, 堀之内 峻之, 渡邊 龍憲, 桐本 光
2. 発表標題 静的筋収縮では錘を牽引する時より不動の物体を押す時に皮膚感覚情報が必要とされる
3. 学会等名 第15回Motor control研究会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 松本 卓也, 伊藤 佳奈実, 石田 晴輝, 堀之内 峻之, 桑原 貴之, 柚木 啓輔, 陳 瀟瀟, 渡邊 龍憲, 桐本 光
2. 発表標題 運動前野への経頭蓋静磁場刺激が単純および選択反応時間に及ぼす影響
3. 学会等名 第76回日本体力医学会大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 柚木 啓輔, 松本 卓也, 桑原 貴之, 陳 瀟瀟, 石田 晴輝, 伊藤 佳奈実, 堀之内 峻之, 渡邊 龍憲, 桐本 光
2. 発表標題 一定の筋力保持に関連する皮膚感覚情報の処理過程は運動負荷形式によって異なる 筋力制御と肢位制御
3. 学会等名 第76回日本体力医学会大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 柚木 啓輔, 松本 卓也, 桑原 貴之, 陳 瀟瀟, 石田 晴輝, 伊藤 佳奈実, 堀之内 峻之, 渡邊 龍憲, 桐本 光
2. 発表標題 静的筋収縮時の負荷形式の違いが皮膚感覚情報の処理過程に及ぼす影響 筋力制御と肢位制御
3. 学会等名 第26回日本基礎理学療法学会学術大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Amane Churei, Yumie Ono, Yohei Fujiwara, Moe Terada, Masashi Kono
2. 発表標題 Robust detection method of motor imagery activity for neurorehabilitation: a preliminary study in healthy participants and hemiplegic stroke patients
3. 学会等名 The 43rd Annual International Conference of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society (EMBC'21) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 寺田 萌, 藤原 揺平, 河野 正志, 市村 幸盛, 小野 弓絵
2. 発表標題 Brain-Machin Interfaceを用いたDigital Mirror Boxによる神経リハビリテーションの臨床効果
3. 学会等名 第55回日本作業療法学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Yuya Nagashima, Daigo Ito, Ryo Ogura, Takanori Tominaga, Yumie Ono
2. 発表標題 Gait training in Virtual Reality home environment for stroke patients
3. 学会等名 生体医工学シンポジウム2021
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 野鳥 一平, 堀内 祐希, 宇野 光平, 松井 佑介, 竹内 弘喜, 金沢 星慶
2. 発表標題 コヒーレンスフィードバック介入による立位姿勢制御調整
3. 学会等名 第5回基礎理学療法若手ネットワークシンポジウム
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 矢口憲, 野鳥一平
2. 発表標題 視覚フィードバック課題を用いた能動的な動的力制御時の皮質 - 筋コヒーレンス
3. 学会等名 第5回基礎理学療法若手ネットワークシンポジウム
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 野鳥 一平, 山本 周平, 佐藤 正彬, 塚越 大智, 竹田 周平, 古橋 啓介, 野口 泰司, 市村 創, 和田 有子, 瀬戸 達一郎, 堀内 博志
2. 発表標題 ICU術後せん妄患者に対する早期リハ介入の在院日数抑制効果
3. 学会等名 第6回日本循環器理学療法学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 野鳥 一平, 金沢 星慶
2. 発表標題 皮質筋コヒーレンス解析に基づくリアルタイムニューロフィードバックアプローチ
3. 学会等名 第2回物理療法研究会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 矢口 憲, 土屋 勇太, 野鳥 一平
2. 発表標題 健常者におけるNMESの即時作用が姿勢制御に及ぼす影響
3. 学会等名 第2回物理療法研究会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Akari Ogawa, Amiri Matsumoto, Chihiro Oshima, Tetsuei Okusaki, Ren Sasaya, Rieko Aruga, Miyabi Toriyama, Atsushi Shima, Satoko Koganemaru, Nan Liang
2. 発表標題 Modulation of interhemispheric inhibition between the dorsolateral prefrontal cortex and primary motor cortex prior to a unimanual hand grip task in humans
3. 学会等名 IUPS 2022 (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 小金丸 聡子
2. 発表標題 経頭蓋律動電流刺激とヒト歩行
3. 学会等名 第51回日本臨床神経生理学会学術大会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 水野 史弥, 小金丸聡子, 入澤 寛, 武村 優, 美津島 隆
2. 発表標題 前額面での膝位置覚はknee-in姿勢において誤差が生じやすい
3. 学会等名 第58回日本リハビリテーション医学会学術集会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 小金丸聡子, 武村 優, 入澤 寛, 美馬 達哉, 美津島 隆, 神作 憲司
2. 発表標題 ALSの嚥下障害症例1例における脳波による嚥下関連脳活動
3. 学会等名 第58回日本リハビリテーション医学会学術集会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 小金丸 聡子, 神作 憲司
2. 発表標題 筋萎縮性側索硬化症における多系統変性に関連する臨床の諸問題 完全閉じ込め状態の患者に対するブレイン-マシン・インターフェイス
3. 学会等名 第62回日本神経学会学術大会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Ugawa Y
2. 発表標題 Demonstration of TMS
3. 学会等名 7th Asian Oceanian Congress of Clinical Neurophysiology (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Ugawa Y
2. 発表標題 Application of TSM in movement disorders.
3. 学会等名 7th Asian Oceanian Congress of Clinical Neurophysiology (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Ugawa Y
2. 発表標題 Guide to Comprehensive Management of Functional Movement Disorders.
3. 学会等名 Jakarta Neurology Exhibition, Workshop and Symposium (JakNEWS) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Ugawa Y
2. 発表標題 Myoclonus: Hperkineitc movement disorders.
3. 学会等名 Jakarta Neurology Exhibition, Workshop and Symposium (JakNEWS) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Ugawa Y
2. 発表標題 Hyperkinetic movement disorders. Case Based Discussion Dystonia, Chorea and Combine Movement Disorder.
3. 学会等名 Jakarta Neurology Exhibition, Workshop and Symposium (JakNEWS) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Ugawa Y
2. 発表標題 Nerve neurosonology. Neurosonology workshop.
3. 学会等名 25th World Congress of Neurology 2021 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Ugawa Y
2. 発表標題 Epilepsy and TMS. Epilepsy and TMS. NON-INVASIVE BRAIN STIMULATION: TMS (WFN/ INTERNATIONAL FEDERATION OF CLINICAL NEUROPHYSIOLOGY JOINT SESSION)
3. 学会等名 25th World Congress of Neurology 2021 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Ugawa Y
2. 発表標題 Transcranial ultrasound stimulation. NEUROPHYSIOLOGICAL TECHNIQUES IN DIAGNOSIS AND THERAPY OF NEUROLOGIC AND NEUROPSYCHIATRIC DISEASES WORKSHOP,
3. 学会等名 25th World Congress of Neurology 2021 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Ugawa Y
2. 発表標題 Case presentation.
3. 学会等名 MDS-AOS Movement Disorders in Asia - Past to Present: Genetic Aspects (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Ugawa Y
2. 発表標題 Benign Adult Familial Myoclonus Epilepsy.
3. 学会等名 MDS-AOS Movement Disorders in Asia - Past to Present: Genetic Aspects (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Ugawa Y
2. 発表標題 What I have done with Professor Rothwell in NBS field.
3. 学会等名 4th International Brain Stimulation Conference (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Ugawa Y
2. 発表標題 Simple and complex jerks: How to interpret myoclonus?
3. 学会等名 MDS-AOS Outreach program 2021, Hyperkinetic movement disorders: From neurophysiology to clinical practice (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 宇川 義一
2. 発表標題 Functional movement disorders は、電気生理で診断できる。Controversy. 、第14回日本パーキンソン病・運動障害疾患 कांग्रेस 2021/02/22-24, 福岡
3. 学会等名 第14回日本パーキンソン病・運動障害疾患 कांग्रेस (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 宇川 義一
2. 発表標題 External and internal loops of the basal ganglia (BG).
3. 学会等名 第62回日本神経学会学術大会 (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 宇川 義一
2. 発表標題 ミオクロームスの治療
3. 学会等名 第15回パーキンソン病・運動障害疾患 कांग्रेस (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 宇川 義一
2. 発表標題 モニタリングに必要な運動誘発電位の知識
3. 学会等名 第8回モニタリングセミナー (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 福田 敦夫
2. 発表標題 CI-ホメオダイナミクスとマルチモーダル GABA: 中部生理学会からの展開.
3. 学会等名 第99回日本生理学会大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Ishibashi M, Fukuda A, Leonard CS
2. 発表標題 Orexin receptor activation induces a novel slow afterhyperpolarization in serotonergic dorsal raphe neurons.
3. 学会等名 第99回日本生理学会大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Watanabe M, Kahle KT, Fukuda A
2. 発表標題 Regulated KCC2 phosphorylation is critical for dynamic GABA-mediated inhibition.
3. 学会等名 第99回日本生理学会大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 王 天英, Adya Saran Sinha, 柳川 右千夫, 河合 智子, 秦 健一郎, 福田 敦夫
2. 発表標題 胎生期ストレスとGad1ヘテロ欠損の二重ヒットによるDNAメチル化により惹起された神経細胞分化と回路の運命転化.
3. 学会等名 第30回日本病態生理学会大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Yesmin R, Watanabe M, Sinha AS, Ishibashi M, Akita T, Fukuda A
2. 発表標題 Caloric restriction mediated hypothalamic-pituitary-adrenal axis regulation is dependent on a subset of AgRP neuronal activation.
3. 学会等名 第48回日本脳科学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 石橋 賢, 福田 敦夫, Leonard S Christopher
2. 発表標題 オレキシンは縫線核セロトニン作動性ニューロンにおいて非選択的陽イオンチャネルの閉口による発火後過分極を誘発する.
3. 学会等名 第68回中部日本生理学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 秋田 天平, 青戸 一司, 才津 浩智, 福田 敦夫
2. 発表標題 発達性てんかん性脳症を引き起こすKv2.1 R306C 変異の大脳皮質錐体神経発火活動への影響について.
3. 学会等名 第68回中部日本生理学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 渡部 美穂, Kahle KT, 福田 敦夫
2. 発表標題 リン酸化によるカリウム-クロライド共輸送体(KCC2)の機能制御.
3. 学会等名 第68回中部日本生理学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 福田 敦夫
2. 発表標題 母体ストレスが胎児に与える影響：動物モデルからの警鐘
3. 学会等名 第9回新胎児学研究会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Kento Hirayama, Takayuki Koga, Rieko Osu
2. 発表標題 Electrical stimulation of the wrist biases human hand choice
3. 学会等名 The Annual Meeting of the Society for the Neural Control of Movement 2021 (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Tatsuya Mima
2. 発表標題 A new noninvasive closed-loop system for gait-synchronized brain stimulation applied for stroke rehabilitation
3. 学会等名 第43回日本神経科学大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Hitoshi Maezawa, Tatsuya Mima, Michael A Nitsche, Masayuki Hirata
2. 発表標題 Central mechanisms of tongue motor functions in humans
3. 学会等名 第43回日本神経科学大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Sumiya Shibata, Jianxu Zhang, Hen Wang, Jinglong Wu, Tatsuya Mima
2. 発表標題 Simulation Study for the magnetic field distribution produced by the brand-new transcranial static magnetic stimulation with three magnets
3. 学会等名 第43回日本神経科学大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 佐藤岳史, 江藤謹司, 美馬達哉
2. 発表標題 脳卒中後慢性疼痛に対する経頭蓋直流電気刺激の使用経験
3. 学会等名 第57回日本リハビリテーション医学会学術集会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 小金丸聡子, 石橋遼, 富岡正雄, 美馬達哉, 佐浦隆一
2. 発表標題 右下部頭頂葉梗塞にて軽度の失行を呈した症例における道具操作課題とtDCS効果
3. 学会等名 第57回日本リハビリテーション医学会学術集会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Tatsuya Mima
2. 発表標題 Recent Topics in Neuromodulation by transcranial Static Magnetic Stimulation
3. 学会等名 第61回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 美馬達哉
2. 発表標題 治療的側面からみたてんかん発作と発作性運動異常症の違い
3. 学会等名 第61回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Kuwabara T, Watanabe T, Matsumoto T, Yunoki K, Kubo N, Chen X, Mima T, Kirimoto H
2. 発表標題 Transcranial static magnetic field stimulation over the supplementary motor area modulates function of anticipatory postural adjustments
3. 学会等名 Federation of European neuroscience society (Web) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Matsumoto T, Watanabe T, Kuwabara T, Yunoki K, Chen X, Kubo N, Kirimoto H
2. 発表標題 Excitability of the ipsilateral primary motor cortex during unilateral finger movement: the effect of hand dominance
3. 学会等名 Federation of European neuroscience society (Web) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Watanabe T, Matsumoto T, Yunoki K, Kuwabara T, Kubo N, Chen X, Mima T, Kirimoto H
2. 発表標題 Greater amount of visual information increases corticomuscular coherence in elderly but not in young adults
3. 学会等名 Federation of European neuroscience society (Web) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Yunoki K, Watanabe T, Matsumoto T, Kuwabara T, Kubo N, Chen X, Mima T, Kirimoto H
2. 発表標題 Transcranial static magnetic stimulation over the temporal lobe induces plastic changes in the accuracy of tachystoscopically presented line bisection
3. 学会等名 Federation of European neuroscience society (Web) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Kuwabara T, Watanabe T, Matsumoto T, Yunoki K, Kubo N, Chen X, Mima T, Kirimoto H
2. 発表標題 The effects of transcranial static magnetic field stimulation over the supplementary motor area on the function of anticipatory postural adjustments
3. 学会等名 14th ICME International Conference on Complex Medical Engineering (Web) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Matsumoto T, Watanabe T, Kuwabara T, Yunoki K, Chen X, Kubo N, Kirimoto H
2. 発表標題 Laterality of intracortical inhibition in the ipsilateral primary motor cortex during unilateral finger movement
3. 学会等名 14th ICME International Conference on Complex Medical Engineering (Web) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Watanabe T, Matsumoto T, Yunoki K, Kuwabara T, Kubo N, Chen X, Mima T, Kirimoto H
2. 発表標題 Changes in corticomuscular and intermuscular coherences associated with visuomotor control
3. 学会等名 14th ICME International Conference on Complex Medical Engineering (Web) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Yunoki K, Watanabe T, Matsumoto T, Kuwabara T, Kubo N, Chen X, Mima T, Kirimoto H
2. 発表標題 The effects of transcranial static magnetic field stimulation on the accuracy of tachystoscopically presented line bisection
3. 学会等名 14th ICME International Conference on Complex Medical Engineering (Web) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 桐本 光
2. 発表標題 静磁場刺激の臨床応用への可能性 , ワークショップ「経頭蓋電気刺激と脳深部刺激の現状と課題」
3. 学会等名 日本臨床神経生理学会学術大会第50回記念大会(京都)(招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 桐本 光
2. 発表標題 企画セミナー「片麻痺患者に対する機能訓練と非侵襲的脳刺激との併用における現状と今後の可能性」
3. 学会等名 第54回日本作業療法学会(Web)(招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 松本 卓也, 渡邊 龍憲, 桑原 貴之, 柚木 啓輔, 陳 瀟瀟, 久保 南実, 桐本 光
2. 発表標題 一側手指運動時の同側一次運動野内における皮質内抑制機能の変化とそのラテラリティ
3. 学会等名 第75回日本体力医学会大会(Web)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 渡邊 龍憲, 松本卓也, 柚木啓輔, 陳 瀟瀟, 久保 南実, 桑原 貴之, 桐本 光
2. 発表標題 若年者と高齢者における視覚運動制御と脳波筋電図間コヒーレンスの関連.
3. 学会等名 第75回日本体力医学会大会(Web)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 石田 晴輝, 渡邊 龍憲, 桑原 貴之, 久保 南実, 松本 卓也, 柚木 啓輔, 陳 瀟瀟, 伊藤 佳奈実, 桐本 光
2. 発表標題 異なる動作課題間における予測性姿勢調節機能の関係性
3. 学会等名 日本臨床神経生理学会学術大会第50回記念大会(京都)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 桑原 貴之, 田村 優衣, 久保 南実, 松本 卓也, 陳 瀟瀟, 柚木 啓輔, 渡邊 龍憲, 桐本 光
2. 発表標題 視覚情報の有無がBimanual load-lifting task時の予測性姿勢調節に及ぼす影響
3. 学会等名 日本臨床神経生理学会学術大会第50回記念大会(京都)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 渡邊 龍憲, 松本卓也, 柚木啓輔, 陳 瀟瀟, 久保 南実, 桑原 貴之, 桐本 光
2. 発表標題 中前頭theta律動と後頭gamma律動は視覚運動制御に関連する
3. 学会等名 日本臨床神経生理学会学術大会第50回記念大会(京都)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 桑原 貴之, 田村 優衣, 久保 南実, 松本 卓也, 陳 瀟瀟, 柚木 啓輔, 渡邊 龍憲, 桐本 光
2. 発表標題 Bimanual load-lifting課題時の視覚情報が予測性姿勢調節機能に及ぼす影響
3. 学会等名 第14回日本作業療法研究学会学術大会 (Web)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 石田 晴輝, 渡邊 龍憲, 桑原 貴之, 久保 南実, 松本 卓也, 柚木 啓輔, 陳 瀟瀟, 伊藤 佳奈実, 桐本 光
2. 発表標題 異なる動作課題間における予測性姿勢調節機能の関係性
3. 学会等名 第14回日本作業療法研究学会学術大会 (Web)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 久保 南実, 石田 晴輝, 渡邊 龍憲, 桑原 貴之, 松本 卓也, 柚木 啓輔, 陳 瀟瀟, 伊藤 佳奈実, 桐本 光
2. 発表標題 視覚刺激色のストロープ効果色のイメージがGo/NoG-go課題の反応時間と事象関連電位に与える影響の検討
3. 学会等名 第14回日本作業療法研究学会学術大会 (Web)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 野嶋一平
2. 発表標題 ミラー療法による運動麻痺へのアプローチ
3. 学会等名 第50回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 M Hoshino, Y Ono
2. 発表標題 EEG Classification of Grasp and Pinch Movements by Transfer Learning of Image-based CNN
3. 学会等名 The 42nd Annual International Conference of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society (EMBC2020) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Y Ono, M Nakabayashi, M Kono, M Ichinose
2. 発表標題 Detection of tissue metabolic rate of oxygen: a combined near-infrared spectroscopy and diffuse correlation spectroscopy study
3. 学会等名 CME2020 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Y. Ono
2. 発表標題 Functional recovery and brain network changes in stroke motor rehabilitation using brain machine interface
3. 学会等名 International Joint Meeting 2020 in Kansai (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Y. Ono
2. 発表標題 Brain machine interface for personalized stroke motor rehabilitation
3. 学会等名 International Conference on Mathematical Modeling and Applications (ICMMA 2020) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 森明子, 小野弓絵, 伊藤麻帆, 水口茉理菜, 河野正志, 富永孝紀
2. 発表標題 脳卒中リハビリテーション前後の運動野半球間結合性の変化と機能回復との関連
3. 学会等名 第59回 日本生体医工学会大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 永嶋 裕也, 伊藤 大剛, 小倉 亮, 富永 孝紀, 小野 弓絵
2. 発表標題 多感覚フィードバックを付与する家庭内自由歩行訓練用VRの開発
3. 学会等名 第59回 日本生体医工学会大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 中禮周, 小野弓絵
2. 発表標題 安静時 μ 波強度に着目した運動想起脳活動の検出方法の検討
3. 学会等名 第59回 日本生体医工学会大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 藤原揺平, 寺田萌, 河野正志, 市村幸盛, 小野弓絵
2. 発表標題 Brain-Machine Interfaceを用いたDigital Mirror Boxによる神経リハビリテーション:-システム改良後の臨床効果-
3. 学会等名 第54回日本作業療法学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 飯尾 恵俊, 美馬 達哉, 小野 弓絵
2. 発表標題 最適な極性の経頭蓋直流電気刺激が運動想起時脳活動に与える効果の検討
3. 学会等名 第98回日本生理学会大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 秋田天平, 福田敦夫.
2. 発表標題 Voltage-sensitive Na ⁺ and K ⁺ current components in interneuron precursors in the medial ganglionic eminence of the embryonic cerebrum.
3. 学会等名 第126回日本解剖学会総会, 全国学術集会, 第98回日本生理学会大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 渡部美穂, Kahle KT, Fukuda A.
2. 発表標題 Developmentally regulated KCC2 phosphorylation is critical for dynamic GABA-mediated inhibition.
3. 学会等名 第126回日本解剖学会総会, 全国学術集会, 第98回日本生理学会大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 秋田天平, 細井泰志, 渡部美穂, 伊藤崇志, 宮嶋裕明, 福田敦夫.
2. 発表標題 胎児期, 生後発達期のタウリン枯渇は大脳皮質錐体神経の発火応答を鈍麻させる.
3. 学会等名 第7回国際タウリン研究会日本部会学術集会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 渡部美穂, 細井泰志, 秋田天平, 伊藤崇志, 福田敦夫.
2. 発表標題 神経細胞内タウリンによるリン酸化を介したGABAA受容体発現制御機構.
3. 学会等名 第7回国際タウリン研究会日本部会学術集会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 石橋賢, 阪東勇輝, 佐藤康二, 福田敦夫.
2. 発表標題 発達期皮質錐体細胞におけるCa ²⁺ 動態とタウリンによるGABAA受容体活性化.
3. 学会等名 第7回国際タウリン研究会日本部会学術集会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 秋田天平, 青戸一司, 才津浩智, 北野勝則, 福田敦夫.
2. 発表標題 神経連続発火活動低下を伴うてんかん性脳症発症機序の解明を目指して.
3. 学会等名 第47回日本脳科学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 石橋賢, 福田敦夫, Leonard CS.
2. 発表標題 背側縫線核セロトニン作動性ニューロンにおけるオレキシン誘発性発火後過分極がシナプス入力感受性に及ぼす影響.
3. 学会等名 第47回日本脳科学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 渡部美穂, Kahle KT, 福田敦夫.
2. 発表標題 リン酸化によるカリウム-クロライド共輸送体(KCC2)の機能制御はGABAによる抑制性伝達形成に必須である.
3. 学会等名 第47回日本脳科学学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 王天英, Sinha AS, 柳川右千夫, 河合智子, 秦健一郎, 福田敦夫.
2. 発表標題 Gad1ヘテロ欠損と胎生期ストレスの二重ヒットによりエピジェネティックに惹起される神経発生, 分化の運命転化.
3. 学会等名 第47回日本脳科学学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Fukuda A, Wang T, Sinha AS, Akita T, Yanagawa Y.
2. 発表標題 Prenatal stress on Gad1 insufficient fetuses enhances tonic inhibition in medial prefrontal cortex by increasing excitability of GABA neurons.
3. 学会等名 The 23rd Annual Meeting of the Korean Society for Brain and Neural Sciences (KSBNS) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 秋田天平, 福田敦夫.
2. 発表標題 胎生脳内側基底核原基の神経前駆細胞における2種類の電位依存性陽イオン電流の発見.
3. 学会等名 第67回中部日本生理学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 渡部美穂, Kahle KT, 福田敦夫.
2. 発表標題 カリウム-クロライド共役担体(KCC2)のリン酸化による機能制御.
3. 学会等名 第67回中部日本生理学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 石橋賢, 阪東勇輝, 佐藤康二, 福田敦夫.
2. 発表標題 発達期皮質錐体細胞におけるCa ²⁺ 動態とタウリンによるGABA _A 受容体活性化.
3. 学会等名 第67回中部日本生理学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Yesmin R, Watanabe M, Wang T, Sinha AS, Akita T, Ishibashi M, Fukuda A.
2. 発表標題 Identification of the GABAergic projections from arcuate nucleus involved in modulation of the CRH release.
3. 学会等名 第67回中部日本生理学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Sinha AS, Wang T, Mutoh H, Akita T, Yanagawa Y, Kawai T, Hata K, Fukuda A.
2. 発表標題 Gad1 heterozygotes subjected to prenatal stress undergo epigenetic dysregulation of genes perturbing neurodevelopment and behavior.
3. 学会等名 第67回中部日本生理学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Fukuda A.
2. 発表標題 Prenatal stress on Gad1 insufficient fetuses drastically change GABA transmission in the medial prefrontal cortex.
3. 学会等名 KSBMB International Conference 2020 (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Fukuda A.
2. 発表標題 Pivotal roles of neuronal excitation-inhibition dynamics in epileptogenesis of human and animal models.
3. 学会等名 The 21st Annual Meeting of the Infantile Seizure Society (ISS) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 北城圭一
2. 発表標題 TMS-EEG計測による脳ダイナミクスのプロープ手法の提案.
3. 学会等名 日本臨床神経生理学会学術大会 第50回記念大会 (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Koganemaru Satoko
2. 発表標題 Clinical Application of tSMS in Stroke.
3. 学会等名 7th International Conference on Non-Invasive Brain Stimulation (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 小金丸 聡子, 武村 優, 入澤 寛, 美馬 達哉, 美津島 隆, 神作 憲司.
2. 発表標題 脳波による嚥下関連脳活動 健康人における検討.
3. 学会等名 第4回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Satoko Koganemaru, Fumiya Mizuno, Toshimitsu Takahashi, Yuu Takemura, Hiroshi Irisawa, Masao Matsuhashi, Tatsuya Mima, Takashi Mizushima, Kenji Kansaku
2. 発表標題 Event-related desynchronization during swallowing in healthy adults.
3. 学会等名 第98回日本生理学会大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Sinha AS、高松泰行, 秋田天平, 美馬達哉, 福田敦夫.
2. 発表標題 Static magnetic fields reduce excitability of pyramidal neurons by increasing membrane Cl ⁻ conductance in the mouse motor cortex.
3. 学会等名 第46回日本脳科学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Sinha AS, Takamatsu Y, Akita T, Mima T, Fukuda A.
2. 発表標題 Static magnetic fields reduce excitability of pyramidal neurons by enhancing membrane Cl ⁻ conductance in the mouse motor cortex.
3. 学会等名 第42回日本神経科学大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Sinha AS, Takamatsu Y, Akita T, Mima T, Fukuda A.
2. 発表標題 Static magnetic fields decrease excitability of pyramidal neurons by increasing membrane Cl ⁻ conductance in the mouse motor cortex.
3. 学会等名 Neural Oscillation Conference 2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 芝田純也、渡邊龍憲、湯川喜裕、水口雅俊、下村亮太、美馬達哉
2. 発表標題 経頭蓋静磁場刺激による大脳半球間抑制への影響の時間的变化
3. 学会等名 第13回Motor Control研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 野嵐 一平, 堀場 充哉, 美馬 達哉, 松橋 眞生, 和田 郁雄, 植木 美乃
2. 発表標題 閉ループ制御機構脳刺激法によるパーキンソン病患者への歩行介入
3. 学会等名 第56回日本リハビリテーション医学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 飛澤 悠伊, 小金丸 聡子, 汪 煜民, 田中 小枝子, 仁宮 慎一郎, 井口 大暢, 西村 宗一郎, 池田 聡, 美馬 達哉, 生駒 一憲
2. 発表標題 脊髄小脳変性症患者におけるTMSを用いた小脳性連合性対刺激法の長期効果の検討
3. 学会等名 第56回日本リハビリテーション医学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 桐本光、緒方勝也、美馬達哉
2. 発表標題 静磁場暴露による半球間抑制のモジュレーション
3. 学会等名 第3回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 美馬達哉
2. 発表標題 新たならしい脳刺激法：静磁場刺激を中心に
3. 学会等名 第49回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 佐藤岳史、田中武也、岩根隆宏、杉江加代子、谷杏平、川瀬智隆、美馬達哉
2. 発表標題 経頭蓋直流電気刺激にて脳卒中後疼痛が軽減した3例
3. 学会等名 第49回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kirimoto H, Mima T, Ogata K, Nakazono H, Tsuru D, Nami K, Chin X, Shozo Tobimatsu.
2. 発表標題 Influence of static magnetic field stimulation on the accuracy of tachystoscopically presented line bisection
3. 学会等名 Neuroscience (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Tsuru D, Kubo N, Chin X, Watanabe T, Mima T, Kirimoto H
2. 発表標題 The effect of transcranial static magnetic field stimulation over the supplementary motor area on the function of anticipatory postural adjustments
3. 学会等名 Neural Oscillation Conference 2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kubo N, Tsuru D, Chin X, Watanabe T, Mima T, Kirimoto H
2. 発表標題 The effects of transcranial static magnetic field stimulation over the premotor cortex or dorsolateral prefrontal cortex on reaction time
3. 学会等名 Neural Oscillation Conference 2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 桐本 光
2. 発表標題 非侵襲的脳刺激ツールとしての静磁場 . シンポジウム 「作業を捉えるマルチストラータ研究の最先端」
3. 学会等名 第53回日本作業療法学会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 鶴 大輔 , 陳 瀟瀟 , 久保 南実 , 豎山 彩香 , 砂川 融 , 桐本 光
2. 発表標題 静磁場暴露による補足運動野の機能抑制
3. 学会等名 第24回日本基礎理学療法学会学術大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 久保 南実, 鶴 大輔, 陳 瀟瀟, 豎山 彩香, 浦川 将, 桐本 光
2. 発表標題 運動前野または背外側前頭前野に対する経頭蓋静磁場刺激の介入効果を検討するための予備的研究
3. 学会等名 第24回日本基礎理学療法学会学術大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 鶴 大輔, 陳 瀟瀟, 久保 南実, 豎山 彩香, 桐本 光
2. 発表標題 補足運動野に対する経頭蓋静磁場刺激が先行随伴性姿勢調節に及ぼす影響
3. 学会等名 第49回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 久保 南実, 鶴 大輔, 陳 瀟瀟, 豎山 彩香, 桐本 光
2. 発表標題 経頭蓋静磁場刺激が運動前野または背外側前頭前野に及ぼす影響の検討 視覚反応課題の反応時間を用いた評価 -
3. 学会等名 第49回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 野島一平
2. 発表標題 脳機能就職技術のリハビリテーションへの応用
3. 学会等名 第56回日本リハビリテーション医学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 野島一平
2. 発表標題 非侵襲脳刺激法による新しいリハビリテーション介入
3. 学会等名 第21回日本看護医療学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 野島一平
2. 発表標題 経頭蓋青磁場刺激とは？～理学療法への応用の可能性～
3. 学会等名 第24回日本基礎理学療法学会学術大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 星野 真輝, 小野 弓絵
2. 発表標題 「握る」と「つまむ」動作を補助するウェアラブルBMIロボットの開発
3. 学会等名 第58回 日本生体医工学会大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小野弓絵, 横澤宏一, 大塚明香, 西本博則
2. 発表標題 SPMソフトウェアを用いたMEG信号源解析の検討
3. 学会等名 第34回日本生体磁気学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 星野慧、柴田真帆子、石山敦士、小野弓絵
2. 発表標題 ペダリング運動の回転数の違いによる脚の運動想起時の脳波事象関連脱同期の影響
3. 学会等名 第26回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会/産総研ニューロリハビリテーション2019
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 柴田真帆子、星野慧、石山敦士、小野弓絵
2. 発表標題 運動への親和性と自己身体の見視性が運動観察想起時の脳活動に与える影響
3. 学会等名 第26回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会/産総研ニューロリハビリテーション2019
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 野嶋一平、堀場充哉、美馬達哉、松橋眞生、小野弓絵、和田郁雄、植木美乃
2. 発表標題 閉ループ制御機能脳刺激法によるパーキンソン病患者への歩行介入
3. 学会等名 第56回日本リハビリテーション医学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小野 弓絵、中林 実輝絵
2. 発表標題 拡散相関分光法による生体血流計測
3. 学会等名 第26回医用近赤外線分光法研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 飯尾 恵俊, 小野 弓絵
2. 発表標題 経頭蓋直流電気刺激による運動想起脳活動の促進効果の検討
3. 学会等名 生体医工学シンポジウム2019
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小野弓絵
2. 発表標題 拡散相関分光法による組織血流イメージング
3. 学会等名 日本学術振興会・産学協力委員会・185委員会研究会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Fukuda A.
2. 発表標題 Cl- homeodynamics and multimodal GABA actions underlying neurological and psychiatric diseases.
3. 学会等名 Guilin medical university special lecture（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 福田敦夫
2. 発表標題 ニューロンの発振とネットワークの発振におけるKCC2の役割.
3. 学会等名 新学術領域研究（オンロロジー）2019年度第一回領域会議
4. 発表年 2019年

1 . 発表者名 Fukuda A.
2 . 発表標題 Prenatal stress to the Gad1 heterozygotes induces neurodevelopmental disorder-like phenotypes along with epigenetic changes in relating genes.
3 . 学会等名 2019 International Meeting on Brain Research and Pharmaceutical Science (IMBRP) (招待講演) (国際学会)
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Watanabe M, Zhang J, Mansuri M, Duan J, Kahle KT, Fukuda A.
2 . 発表標題 A KCC2 phospho-switch is essential for dynamic GABA-mediated inhibition and postnatal survival.
3 . 学会等名 第42回日本神経科学大会
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Wang T, Sinha AS, Mutoh H, Akita T, Yanagawa Y, Kawai T, Hata K, Fukuda A.
2 . 発表標題 Prenatal stress to the Gad1 heterozygotes causes epigenetic changes in neurodevelopment and behavior relating genes and affects their phenotypes.
3 . 学会等名 第42回日本神経科学大会
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Ishibashi M, Fukuda A, Leonard CS.
2 . 発表標題 Effect of orexin on the firing pattern of serotonergic dorsal raphe neurons.
3 . 学会等名 第42回日本神経科学大会
4 . 発表年 2019年

1. 発表者名 秋田天平, 福田敦夫.
2. 発表標題 胎生期大脳基底核原基の神経前駆細胞に生じる膜電流成分について.
3. 学会等名 第66回中部日本生理学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 渡部美穂, Kahle KT, 福田敦夫.
2. 発表標題 抑制性神経伝達を維持するカリウム-クロライド共役担体(KCC2)のリン酸化による制御の役割.
3. 学会等名 第66回中部日本生理学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 石橋賢, 福田敦夫, Leonard CS.
2. 発表標題 背側縫線核セロトニン作動性ニューロンにおけるオレキシン誘発性発火後過分極と内向き電流に対する細胞内外カルシウム濃度の影響.
3. 学会等名 第66回中部日本生理学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Fukuda A.
2. 発表標題 Pivotal roles of Cl ⁻ -homeostasis in epileptogenesis of human and animal models.
3. 学会等名 6th Congress of AsCNP (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ishibashi, M, Berry EA, Molina NE, Sato T, Fukuda A, Leonard CS.
2. 発表標題 Impact of a novel slow afterhyperpolarization (sAHP) on spike encoding by serotonergic (5-HT) dorsal raphe (DR) neurons.
3. 学会等名 Neuroscience 2019
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Wang T, Sinha Adya S, Mutoh H, Akita T, Yanagawa Y, Kawai T, Hata K, Fukuda A.
2. 発表標題 Gad1 heterozygotes subjected to prenatal stress undergo epigenetic dysregulation of genes perturbing neurodevelopment and behavioral phenotypes.
3. 学会等名 Neuroscience 2019
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Watanabe M, Fukuda A.
2. 発表標題 Excitatory gabaergic inputs to gnRH neurons are required for female reproduction.
3. 学会等名 Neuroscience 2019
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 石橋賢, 福田敦夫, Leonard CS.
2. 発表標題 背側縫線核セロトニン作動性ニューロンにおけるオレキシン誘発性発火後過分極と内向き電流に対する細胞内外カルシウム濃度の影響.
3. 学会等名 第46回日本脳科学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Fukuda A.
2. 発表標題 Astrocytes signaling to control GABA inhibition.
3. 学会等名 Neuroscience/Epilepsy Mini Symposium in UNSW (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Fukuda A.
2. 発表標題 Mutations and posttranslational modulations of the K ⁺ -Cl ⁻ cotransporter underlie seizures and epilepsy.
3. 学会等名 AuPS/ASB Meeting (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 福田敦夫.
2. 発表標題 細胞発振現象と集団発振のモーダルシフト.
3. 学会等名 新学術領域研究(オンロロジー)2019年度第二回領域会議
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 秋田天平, 青戸一司, 才津浩智, 北野勝則, 福田敦夫.
2. 発表標題 てんかん性脳症をもたらす電位依存性K ⁺ チャンネルKv2.1変異を導入したノックインマウスを用いた発症機序の解析.
3. 学会等名 新学術領域研究(オンロロジー)2019年度第二回領域会議
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 渡部美穂, Zhang J, Mansuri M, Kahle KT, 福田敦夫.
2. 発表標題 リン酸化によるカリウム-クロライド共役担体(KCC2)の機能制御はGABAによる抑制性伝達形成に必須である.
3. 学会等名 新学術領域研究(オンロロジー)2019年度第二回領域会議
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 石橋寛, 阪東勇輝, 佐藤康二, 福田敦夫.
2. 発表標題 発達期皮質錐体細胞におけるCa ²⁺ 動態とタウリンによるGABA受容体活性化.
3. 学会等名 新学術領域研究(オンロロジー)2019年度第二回領域会議
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 福田敦夫.
2. 発表標題 Gad1ヘテロ欠損と胎生期ストレスの二重ヒットによりエピジェネティックに惹起される神経発生の運命転化.
3. 学会等名 自然科学研究機構分野融合型共同研究事業 ワークショップ「運動・行動から紐解く脳神経回路発達メカニズムの異分野融合研究による解明」
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 渡部美穂, 柿沢圭亮, 福田敦夫.
2. 発表標題 発達期のCRHニューロン制御機構におけるGABAの役割.
3. 学会等名 自然科学研究機構分野融合型共同研究事業 ワークショップ「運動・行動から紐解く脳神経回路発達メカニズムの異分野融合研究による解明」
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 石橋賢, 阪東勇輝, 佐藤康二, 福田敦夫.
2. 発表標題 発達期皮質錐体細胞におけるCa ²⁺ 動態とタウリンによるGABA _A 受容体活性化.
3. 学会等名 自然科学研究機構分野融合型共同研究事業 ワークショップ「運動・行動から紐解く脳神経回路発達メカニズムの異分野融合研究による解明」
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Sinha AS, Wang T, Mutoh H, Akita T, Yanagawa Y, Kawai T, Hata K, Fukuda A.
2. 発表標題 Gad1 heterozygotes subjected to prenatal stress undergo epigenetic dysregulation of genes perturbing neurodevelopment altering inhibitory network and behavior.
3. 学会等名 自然科学研究機構分野融合型共同研究事業 ワークショップ「運動・行動から紐解く脳神経回路発達メカニズムの異分野融合研究による解明」
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Akita T, Fukuda A.
2. 発表標題 Two cation current components in GABAergic interneuron precursors in the medial ganglionic eminence of the embryonic brain.
3. 学会等名 第97回日本生理学会大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Watanabe M, Kahle KT, Fukuda A.
2. 発表標題 Developmentally regulated KCC2 phosphorylation is essential for dynamic GABA-mediated inhibition and survival.
3. 学会等名 第97回日本生理学会大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Ishibashi M, Fukuda A, Leonard CS.
2. 発表標題 Orexin receptor activation induces a novel slow afterhyperpolarization that results from the calciumdependentclosure of cation channels in serotonergic dorsal raphe neurons.
3. 学会等名 第97回日本生理学会大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Sinha AS, Wang T, Hosoi Y, Sohara E, Akita T, Uchida S, Fukuda A.
2. 発表標題 WNK3 kinase maintains basal excitability by regulating inward rectification and intracellular chloride in layer V pyramidal neurons of mouse medial prefrontal cortex.
3. 学会等名 第97回日本生理学会大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 北城圭一
2. 発表標題 脳のリズムネットワークと脳卒中病態との関連
3. 学会等名 医療法人穂翔会村田病院リハビリテーション部特別講演会（招待講演）
4. 発表年 2019年

〔図書〕 計3件

1. 著者名 植木美乃	4. 発行年 2023年
2. 出版社 医学書院	5. 総ページ数 432
3. 書名 標準リハビリテーション医学第4版	

1. 著者名 植木美乃	4. 発行年 2023年
2. 出版社 名市大ブックス第13巻	5. 総ページ数 128
3. 書名 うつ病と運動リハビリテーション	

1. 著者名 植木美乃	4. 発行年 2023年
2. 出版社 医学書院	5. 総ページ数 308
3. 書名 リハビリテーション医学・医療における処方作成テキスト	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	小野 弓絵 (Ono Yumie) (10360207)	明治大学・理工学部・専任教授 (32682)	
研究分担者	野嶌 一平 (Ippei Nojima) (20646286)	名古屋市立大学・薬学総合研究院(医学)・教授 (23903)	
研究分担者	桐本 光 (Hikari Kirimoto) (40406260)	広島大学・医系科学研究科(保)・教授 (15401)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	松橋 眞生 (Masao Matsuhashi) (40456885)	京都大学・医学研究科・特定准教授 (14301)	
研究分担者	植木 美乃 (Ueki Yoshino) (40467478)	名古屋市立大学・医薬学総合研究院(医学)・教授 (23903)	
研究分担者	小金丸 聡子 (Koganemaru Satoko) (40579059)	京都大学・医学研究科・特定准教授 (14301)	
研究分担者	宇川 義一 (Ugawa Yoshikazu) (50168671)	福島県立医科大学・医学部・教授 (21601)	
研究分担者	福田 敦夫 (Atsuo Fukuda) (50254272)	浜松医科大学・医学部・教授 (13802)	
研究分担者	大須 理英子 (Rieko Osu) (60374112)	早稲田大学・人間科学学術院・教授 (32689)	
研究分担者	北城 圭一 (Keiichi Kitajo) (70302601)	生理学研究所・システム脳科学研究領域・教授 (63905)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8 . 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------